BN-MUX

無線 LAN 対応 GE-PON ONU

BFW200

取扱説明書

ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お客様に安全に使用していただくための事項です。

住友電気工業株式会社

Copyright©2015 Sumitomo Electric Industries, LTD.
- 本取扱説明書の内容の一部または全部を許可なしに無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品を運用した結果、または本書に記載されている情報から生じた影響については、責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書の著作権は、住友電気工業株式会社に帰属しています。

Windows、Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows Phone、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
Mac、OS X、AirMac、iPad、iPhone は Apple Inc. の登録商標または商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
Android は、Google Inc. の登録商標または商標です。

目　次

はじめに 3
安全にお使いいただくために 3
概　要 21
ご使用になる前に 22
●箱の中身を確認してください 22
●各部の名称 22
●LED ランプ表示について 23
1　本製品を設置する 24
●壁掛けについて 24
2　ネットワーク機器を接続する 25
■ IP 電話やパソコンなどを本製品と有線 LAN で接続する 25
■ パソコンと本製品を無線 LAN で接続する 26
●Windows 8.1 の場合 26
●Windows 7 の場合 29
●Windows Vista の場合 32
●Mac OS X の場合 35
■ スマートフォンなどの携帯端末と本製品を無線 LAN で接続する 37
●iPad ／ iPhone の場合 37
●Android 端末の場合 40
■ WEP 認証でネットワーク機器と本製品を無線 LAN で接続する 42
■ その他の機器と本製品を無線 LAN で接続する 46
3　詳細な設定 47
■ Web 設定画面で設定する 47
●動作モード 49
●言語設定 50
●WAN/LAN 設定－ WAN 51
●WAN/LAN 設定－ LAN 設定 52
●WAN/LAN 設定－詳細機能 53
●無線 LAN 設定（2.4GHz）－基本設定 54
●無線 LAN 設定（2.4GHz）－詳細設定 56
●無線 LAN 設定（2.4GHz）－セキュリティ設定 57
●無線 LAN 設定（2.4GHz）－ WPS 59
●無線 LAN 設定（2.4GHz）－無線端末一覧 60
●無線 LAN 設定（2.4GHz）－無線統計情報 61
●無線 LAN 設定（5GHz）－基本設定 62

●無線 LAN 設定（5GHz）－詳細設定 65
●無線 LAN 設定（5GHz）－セキュリティ設定 66
●無線 LAN 設定（5GHz）－ WPS 68
●無線 LAN 設定（5GHz）－無線端末一覧 69
●無線 LAN 設定（5GHz）－無線統計情報 70
●ファイアウォール－フィルタリング設定 71
●ファイアウォール－ポートフォワーディング 73
●ファイアウォール－ DMZ 75
●管理－ファームウェア更新 76
●管理－設定管理 77
●管理－システム情報 78
4　メンテナンス 80
■ ファームウェアの更新 80
●ファームウェアを手動更新する 80
■ 本製品の初期化 83
●RESET ボタンで初期化する 83
●Web 設定画面で初期化する 84
■ 設定値の保存と復元 87
●設定値の保存 87
●設定値の復元 90
5　トラブルシューティング 92
6　付録 93
■ 仕様一覧 93

はじめに

このたびは、無線 LAN 対応 GE-PON ONU「BFW200」（以下、本製品）をご使用いただきましてありがとうございます。
お使いになる前に、本製品の機能を十分にいかして正しくご利用いただくために、この取扱説明書を最後までよくお読みください。
お読みになったあとは、必ず大切に保存してください。

安全にお使いいただくために

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。
また、より確実に理解していただくために表示と図記号を添えて表現しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

⚠ **警告**	「誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷[*1]を負う可能性のあること」を示します。
⚠ **注意**	「誤った取り扱いをすると、人が傷害[*2]を負う可能性、または物的損害[*3]のみが発生する可能性のあること」を示します。

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電をさします。
*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	指示する行為の強制（必ずやること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などについて、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■用途限定

本製品は、人の生命に直接かかわる装置 *1 や人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置 *2 などの制御に使用するよう設計・製造されたものではないため、それらの用途には使用しないでください。

*1： 人の生命に直接関わる装置とは、次のものをさします。
- 生命維持装置や手術室用器具などの医療機器
- 有毒ガスなどの排ガス、排煙装置
- 消防法、建築基準法などの各種法令により設置が義務づけられている装置
- 上記に準ずる装置

*2： 人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置とは、次のものをさします。
- 航空、鉄道、道路、海運などの交通管制装置
- 原子力発電所などの装置
- 上記に準ずる装置

■Trademarks

本書に記載されている製品名は、一般に各社の商標また登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは記載していません。

⚠ 警告

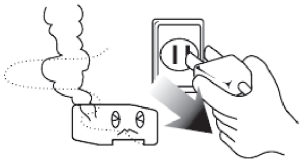
製品本体について

●本製品や AC アダプタ・電源コードから異常な臭いがしたり、過熱・発煙・変色・損傷などがある場合には、ただちに電源コンセントから電源プラグ（AC アダプタ）を抜いて使用を中止してください

・そのまま使うと、火災・故障の原因となります。「保守窓口」へ、点検を依頼してください。



電源プラグを
コンセントから抜く



●光コネクタの発光部分を直接見ないでください



禁　止

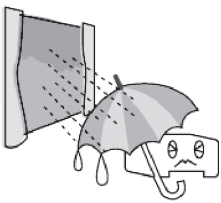
・本製品はクラス 1 レーザ製品です。直視した場合、目を傷める危険性があります。

●雨、霧などが直接入り込むような場所では使わないでください

・雨、霧が付着して、火災、感電および故障の原因となります。



禁　止



●本製品は 0℃～ 40℃の環境で使用してください



強制指示

・火災、故障の原因となります。

●電源コンセントはタコ足配線をしないでください



禁　止

・発火の原因となったり、電源使用量がオーバーしてブレーカーが落ち、他の機器に影響を及ぼす可能性あります。

⚠ 警告

製品本体について

●必ず、本製品付属の AC アダプタを使用してください



強制指示

・本製品付属以外の AC アダプタでは、電圧や（＋）（－）の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発煙の原因となります。

●お客様ご自身で修理、改造、分解をしないでください

・火災、感電、やけど、けがの原因となります。



分解禁止



●小さなお子様の手の届かないところに置いてください



強制指示

・ケーブルを首に巻きつけたりして、事故やけが、故障の原因となります。

●内部を開けないでください



禁　止

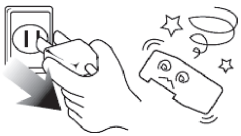
・火災、感電、やけど、故障や誤作動の原因となります。

●本製品を落としたり、強い衝撃を与えたときは、ただちに、電源コンセントから電源プラグ（AC アダプタ）を抜いてください

・そのまま使うと、火災、発煙の原因となります。「保守窓口」へ、点検を依頼してください。



電源プラグを
コンセントから抜く



⚠ 警告

製品本体について

●ビニール袋などの梱包材料は幼児の手の届かないところに保管してください



強制指示

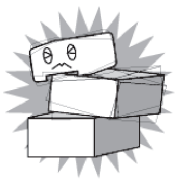
・口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息の原因となります。

●ぐらついた台の上、傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください
また、重ね置きをしないでください

・落ちたり、倒れたりしてけがおよび故障の原因となります。



禁　止



●本製品内部にクリップなどの金属やコーヒーなどの液体を入れないでください

・ショートによる火災、発煙および故障の原因となります。

・万一、入ったときは、ただちに、電源コンセントから電源プラグ（AC アダプタ）を抜いて「保守窓口」へ、点検を依頼してください。



禁　止



●LAN ポートに LAN 機器以外は接続しないでください



禁　止

・デジタル回線（ISDN）、電話回線などを接続すると火災、発煙および故障の原因となります。

⚠ 警告

AC アダプタについて

●付属の AC アダプタを、本製品以外には使用しないでください

禁　止

・火災、感電の原因となります。

●AC100V 以外の電源コンセントには、絶対に AC アダプタを差し込まないでください

・入力電源条件に適合しない電源コンセントに接続しますと、火災、発煙および故障の原因となります。

強制指示



●傷ついたり、破損したり、加工した電源コードは使わないでください

・火災、感電、やけどの原因となります。

禁　止



●電源コードを取り扱うときは次の点を守ってください

- 傷つけない
- 無理に曲げない
- 物を載せない
- 加工しない
- ねじらない
- 加熱しない
- コードをつぎ足さない
- 引っ張らない
- 熱器具に近づけない
- ドアなどにはさまない
- 机、家具などを載せてつぶさない
- 釘やステープルで固定しない

強制指示

守らないと、火災、感電、やけどの原因となります。
もし、電源コードが傷ついたときは、「保守窓口」へ、点検を依頼してください。

●お客様ご自身で AC アダプタの修理、改造、分解をしないでください

禁　止

・火災、感電、やけど、けがの原因となります。

⚠ 警告

無線通信について

●付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性がある場所では、本製品の電源を切ってください



強制指示

・電波により、ペースメーカーの動作に影響する恐れがあります。

●病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは、本製品を使用しないでください
また、医療用電気機器に近づけないでください



強制指示

・電波の影響で、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

●自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは、本製品の電源を切ってください



強制指示

・電波の影響で、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

●本製品の使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、本製品の電源を切ってください



強制指示

・電波の影響で、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

⚠ 注意

製品本体について

●ほこりの多い場所では使わないでください

・ほこりがたまると、ショートによる火災、発煙および故障の原因となります。



禁　止

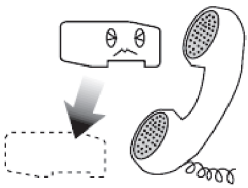


●本製品を移設するときは「保守窓口」にご相談ください

・お客様が移設されますとけがをしたり、本製品が壊れたりすることがあります。



強制指示



●近くに雷が発生する恐れがあるときは、AC アダプタおよび LAN ケーブルを抜いて、ご使用を控えてください



強制指示

・故障の原因となります。

●雷が鳴り出したら、AC アダプタや電源コードおよび本製品に触ったり、ケーブルの抜き差しをしないでください



禁　止

・雷によっては、火災、感電および故障の原因となります。

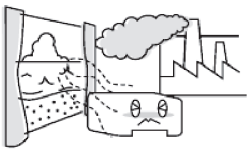
⚠ 注意

製品本体について

●腐食性ガスや塩分を含んだ外気が直接侵入する場所では使わないでください

・発煙、故障の原因となります。

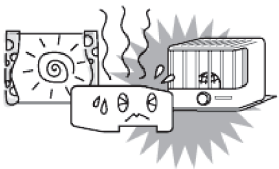
禁 止



●本製品や AC アダプタに布団をかけたり、直接日光の当たる場所、コタツの中、暖房器具の近くなどの温度の高い場所には置かないでください

・本製品内部の温度が上がり火災および故障の原因となります。

禁 止



●じゅうたん、布団、毛布、ベッドの上では使用しないでください

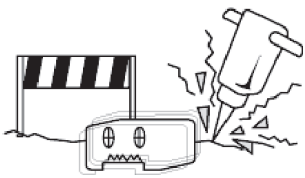
・本製品内部の温度が上がり火災および故障の原因となります。

禁 止

●振動の多い場所に置かないでください

・動いたり、倒れたりしてけがおよび故障の原因となります。

禁 止



⚠ 注意

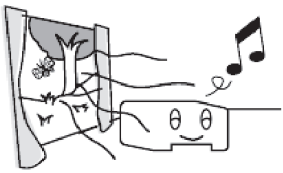
製品本体について

●風通しの良い場所に置いてください

・本製品の通風口をふさいだり、布団や毛布などで包んだり、個装箱やビニール袋に入れたまま使用しないでください。
本製品の発する熱がこもりやすい場所に置くと、本製品内部の温度が上がり火災および故障の原因となります。



強制指示



●風呂場などの水分や湿気の多い場所、および窓際など結露の恐れのある場所の近くでは使用しないでください



禁　止

・水分や水滴などが付着または本製品内部に浸入し、火災、感電および故障の原因となります。

●本製品や電源コードを熱器具に近づけないでください



禁　止

・キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となります。

●近くに紙などの燃えやすいものを置かないでください



禁　止

・発熱により火災の原因となります。

●通風口をふさがないよう、前後左右および上部を各 10cm 以上あけてください



強制指示

・本製品の内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠ 注意

製品本体について

●内部を開けないでください



禁　止

・故障や誤動作の原因となります。

●本製品に乗らないでください。また、小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届く場所に置かないでください



禁　止

・けが、やけどの原因となります。

●本製品の上に物を載せたり、物を落としたりしないでください



禁　止

・故障の原因となります。
・破損して、けがの原因となります。

●お手入れをするときは、安全のため必ず電源コンセントから電源プラグ（AC アダプタ）を抜いてください



強制指示

●ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください



禁　止

・変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよく絞って汚れを拭き取り、やわらかい布でから拭きしてください。

●電源を再投入する場合、必ず電源コンセントから電源プラグ（AC アダプタ）を外した状態で 10 秒以上おいてから電源を入れてください



強制指示

・誤動作や故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

製品本体について

●ケーブル類の敷設に配慮してください



禁 止

・光ケーブルは折り曲げたり、無理に引っ張る、ねじるなどしないでください。
・光ケーブルを曲げる際は、必ず直径 60mm 以上となるようにしてください。

●電気製品・AV 機器・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください
（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）



禁 止

・磁気や電気雑音の影響を受けると通信できなくなることがあります。
・テレビ画面が乱れることがあります。

●本製品や AC アダプタを樹脂製のものやビニールコーティングされたもの、熱に弱いものの近くに設置しないでください



禁 止

・本製品や AC アダプタ、近くに設置したものが変形・変色・損傷する場合があります。

●温度差の大きい場所へ移動させたら、すぐには使用しないでください



禁 止

・本製品を寒い所から急に暖かな所へ移動させたときは、本製品内部に結露が生じ、故障の原因となります。万一結露した場合は、電源を切った状態で放置し、完全に乾燥させてから電源を入れてください。

●殺虫剤など、揮発性のある薬品をかけないでください



禁 止

・火災や故障の原因となります。

●屋外には設置しないでください



禁 止

・屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。

●梱包箱やビニール袋に入れたまま使用しないでください



禁 止

・本製品内部の温度が上がり、故障や発火の原因となります。

⚠ 注意

AC アダプタの取り扱いについて

●電源コンセントから電源プラグ（AC アダプタ）を抜くときは、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグ（AC アダプタ）を持って抜いてください

・電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因となります。



強制指示



●電源プラグ（AC アダプタ）を AC100V コンセントに差し込むときは、まっすぐに、奥まで確実に差し込んでください



強制指示

・確実に差し込んでいないと、火災、感電の原因となります。

●長期間ご使用にならないときは、電源プラグ（AC アダプタ）を電源コンセントから抜いてください



強制指示

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください



禁　止

・タコ足配線にするとコンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

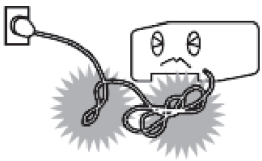
AC アダプタの取り扱いについて

●電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、またコードの上に重い物を載せたりしないでください

・ショート、断線による火災、感電の原因となります。



禁　止

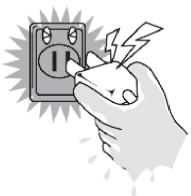


●濡れた手で、電源プラグ（AC アダプタ）を抜き差ししないでください

・感電の原因となります。



禁　止



●電源プラグ（AC アダプタ）と電源コンセント間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください



強制指示

・火災の原因となります。

無線通信の電波に関するご注意

●本製品は、技術基準適合証明を受けています。

本製品の無線通信で使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・化学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1）本製品の無線通信を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または、電波の発射を停止したうえ、混信回避のための処置についてご契約された事業者にご相談ください。
3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた際は、ご契約された事業者にお問い合わせください。

次の記載は、本製品の IEEE802.11b/g/n 無線通信に関する「2.4GHz 帯の使用・変調方式・想定干渉距離・周波数変更の可否」を表します。



（表示）	（表示の意味）
2.4	2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF	変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。
4	想定干渉距離が 40m 以下を表します。
■■■	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

無線通信の電波に関するご注意

●電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮断された部屋などでは、ご使用にならないでください。

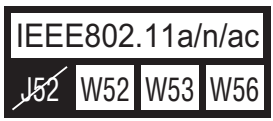
・使用環境により、電波が届かない場合があります。

・無線通信の伝播距離や接続速度は、使用環境によって大きく変動します。

●本製品は、IEEE802.11a/n/ac の 34/38/42/46 チャンネル（J52）での通信には対応していません。

●IEEE802.11a/n/ac の 36/40/44/48 チャンネル（W52）、および、52/56/60/64 チャンネル（W53）は、屋外での使用が電波法により禁止されています。

次の記載は、本製品の IEEE802.11a/n/ac 無線通信に関する「5.xGHz 帯の対応仕様」を表します。



（表示）	（周波数）	（表示の意味）
~~J52~~	5.2GHz 帯	34/38/42/46 チャンネルに未対応
W52	5.2GHz 帯	36/40/44/48 チャンネルに対応
W53	5.3GHz 帯	52/56/60/64 チャンネルに対応
W56	5.6GHz 帯	100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネルに対応

無線 LAN のセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意のある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意のある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流してデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性が少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本製品を使用することをお奨めします。
本製品の工場出荷状態では WPA/WPA2 Personal のセキュリティが設定されています。

・電波障害自主規制について

本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報技術装置）です。この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されますと、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・仕様について

本製品の仕様は、日本国内向けです。
AC100V 以外では使用しないでください。
また、本製品は屋内専用です。

・取り扱いについて

本製品は、特別管理産業廃棄物に該当します。本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

本製品は、「外国為替法及び外国貿易法」に基づく輸出規制品に該当するため、日本国外への輸出に関しては法人・個人を問わず経済産業大臣の許可が必要です。
さらに本製品には、米国輸出管理規制の規制を受けた製品が組み込まれており、米国政府の許可もあわせて必要になります。

本製品は、国外（海外）では使用できません。日本以外の規格に適合しておらず、使用する地域の法令・規格に違反する可能性があります。

概　要

本製品は、FTTH 回線に接続する ONU とギガビットイーサネットに対応した無線 LAN ブロードバンドルーターを一体化した宅内端末装置です。
お客様がお持ちのパソコン・スマートフォン・タブレットなどの機器を有線 LAN または無線 LAN で本製品に接続することにより、FTTH 回線を経由した快適なデータ通信が可能となります。

用語説明

FTTH（Fiber To The Home）
　光ファイバーを住宅に直接引き込んで提供する家庭向けデータ通信サービス。

ONU（Optical Network Unit）
　光通信において加入者側に設置し、センターからの光信号を電気信号に変換して LAN と接続する光回線終端装置。

ご使用になる前に

箱の中身を確認してください

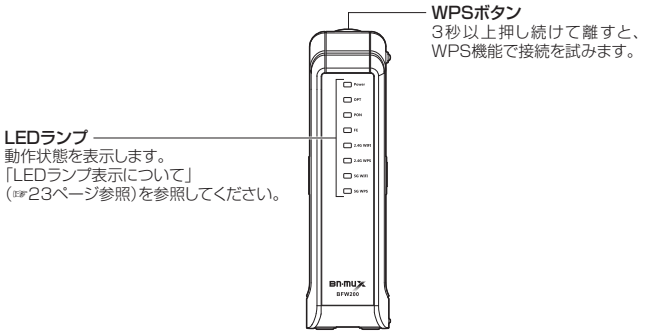
以下に記載されたものを受け取られたかどうかまず確認してください。
万一、不足しているものや破損しているものがありましたら、ご契約された事業者へすぐにご連絡ください。

- BFW200 本体　　1 台
- AC アダプタ　　1 台
- 取扱説明書（本書）　　1 冊

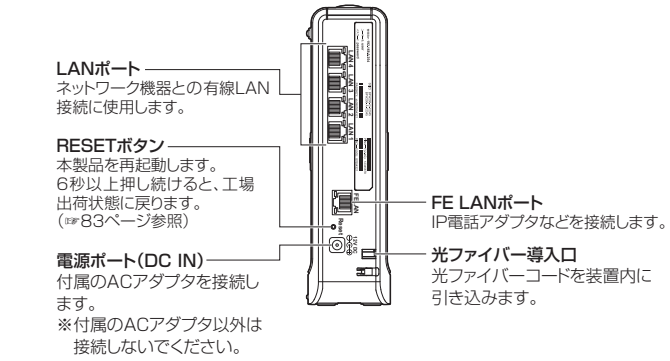
※ 同梱物は契約された事業者によって異なる場合があります。

各部の名称

【前面】



【背面】



LED ランプ表示について

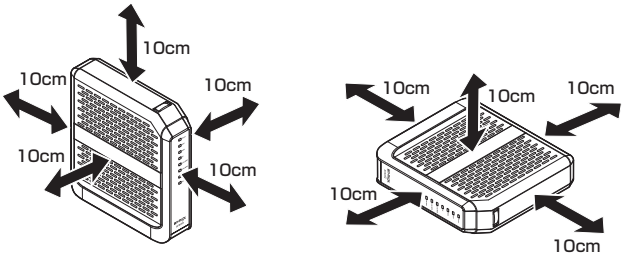
本製品の前面には、インジケータとして 8 種類の状態表示ランプ（LED）がついています。各ランプ（LED）の意味は以下のとおりです。

名称（色）	状態	意　味
Power（緑）	点灯	AC アダプタから電力が供給されているとき
	点滅	起動中、ルーター部が IP アドレスの取得を完了していないとき、およびファームウェアを更新しているとき※
	消灯	AC アダプタから電力が供給されていないとき
OPT（緑）	点灯	光ファイバーから信号を正常に受信しているとき
	消灯	光ファイバーから信号を正常に受信していないとき
PON（緑）	点灯	光ネットワークが正常に動作しているとき
	点滅	光ネットワークが準備中のとき
	消灯	光ファイバーから信号を正常に受信していないとき
FE（緑）	点灯	FE LAN ポートがネットワーク機器と接続されているとき
	点滅	FE LAN ポートでデータを送受信しているとき
	消灯	FE LAN ポートがネットワーク機器と接続されていないとき
2.4G WIFI（緑）	点灯	2.4GHz 帯の無線 LAN が動作しているとき
	点滅	2.4GHz 帯の無線 LAN が通信しているとき
	消灯	2.4GHz 帯の無線 LAN が使用できないとき
2.4G WPS（緑）	点灯	2.4GHz 帯の WPS 機能が使用可能なとき
	点滅	WPS 機能を使用して 2.4GHz 帯無線 LAN 機器の登録を行っているとき
	消灯	2.4GHz 帯の WPS 機能が使用できないとき
5G WIFI（緑）	点灯	5GHz 帯の無線 LAN が動作しているとき
	点滅	5GHz 帯の無線 LAN が通信しているとき
	消灯	5GHz 帯の無線 LAN が使用できないとき
5G WPS（緑）	点灯	5GHz 帯の WPS 機能が使用可能なとき
	点滅	WPS 機能を使用して 5GHz 帯無線 LAN 機器の登録を行っているとき
	消灯	5GHz 帯の WPS 機能が使用できないとき

※Power ランプが点滅している場合、本製品がファームウェアを更新している場合があります。そのときは、電源を切らずにしばらくお待ちください。

1 本製品を設置する

本製品は、縦置きまたは横置きでご使用になることができます。過熱を避けるために、設置面以外は少なくとも 10cm 以上の空間を作るようにしてください。また空間を作った場合でも、本製品全体を覆うような形での設置はおやめください。
縦置きまたは横置きにする場合には、必ずゴム足の面が下になるように置いてください。
その他の設置についての注意事項は、「安全にお使いいただくために」を参照してください。

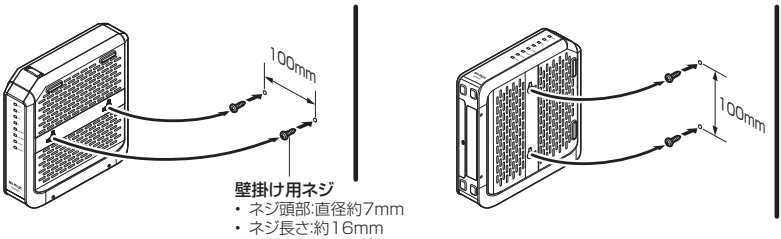


壁掛けについて

壁掛けする場合は、本製品の側面の穴に引っ掛けてご使用ください。
縦置き／横置きと同様、設置面以外は少なくとも 10cm 以上の空間を作るようにしてください。また空間を作った場合でも、本製品全体を覆うような形での設置はおやめください。

お願い

- 壁掛けに使用する壁に十分な強度があることをご確認ください。
- 壁に掛けた状態で、LAN ケーブル、光ファイバーコードや AC アダプタコードを強く引っ張らないでください。
- 本製品の放熱で壁が変色することがあります。壁掛け場所の選定にご留意ください。



壁掛け用ネジ
- ネジ頭部:直径約7mm
- ネジ長さ:約16mm

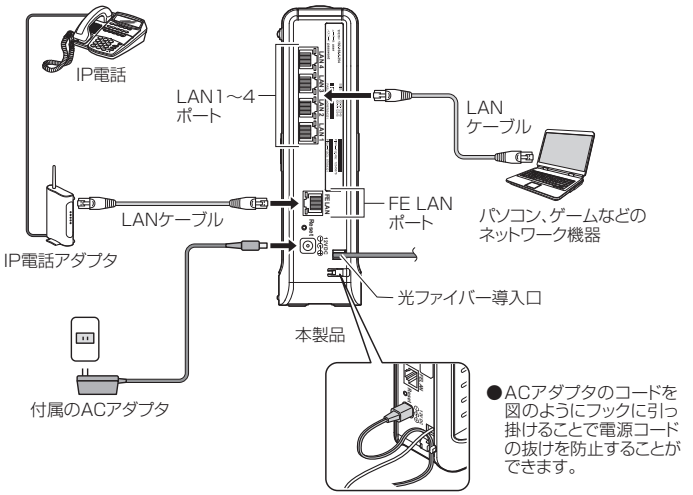
※壁掛け用ねじは付属しておりません。
お客様でご準備ください。

2 ネットワーク機器を接続する

■ IP 電話やパソコンなどを本製品と有線 LAN で接続する

IP電話などをFE LANポートに、パソコン／ゲームなどのネットワーク機器をLAN1～4ポートに接続します。

【接続構成例】

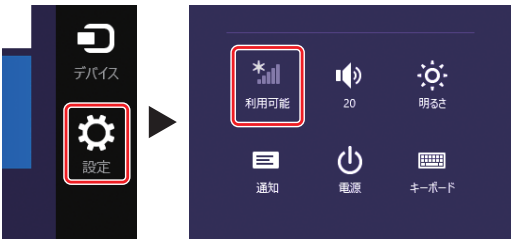


●接続する LAN ケーブルはカテゴリ 5e 以上をご使用ください。
●接続するネットワーク機器は、IP アドレス、DNS サーバーアドレスを自動（DHCP）で取得するように設定してください。

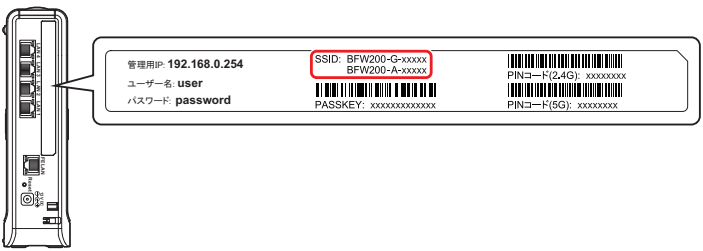
■ パソコンと本製品を無線 LAN で接続する

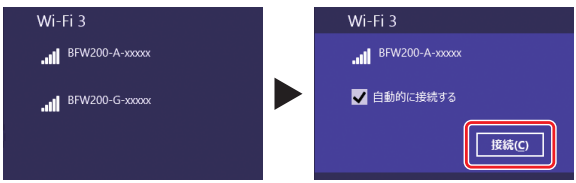
Windows 8.1 の場合

1 スタート画面の右端から内側にスワイプし、「設定」をタップします。マウスを使用している場合は、画面の右隅をポイントし、「設定」をクリックします。
次に、「ネットワーク」アイコンをタップまたはクリックします。



2 表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続するネットワーク SSID を選択し、「接続」をタップまたはクリックします。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



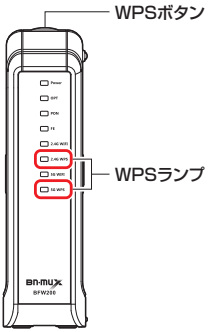


※お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

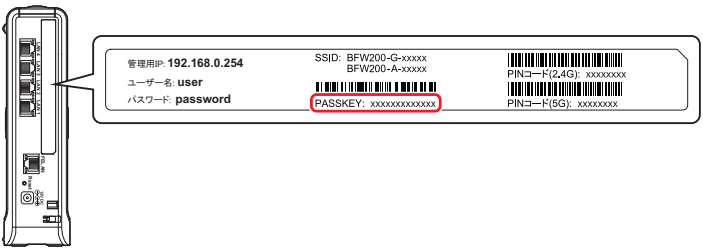
3 ネットワークセキュリティキーを入力する画面が表示されます。
その際、本製品の「WPS」ボタンを押して接続する方法（4a）と、セキュリティキーを入力する方法（4b）と２種類あります。

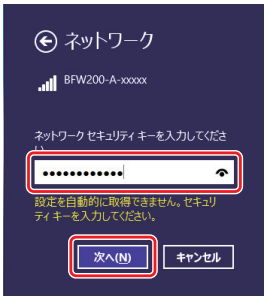
4a 表示された画面に「ルーターのボタンを押しても接続できます。」の記述があれば、この状態で、本製品の「WPS」ボタンを押すことで接続することができます。
「WPS」ボタンを３秒以上押し続け、その後、ボタンを離すと WPS 機能が動作します。
WPS 動作中は、本製品前面の「2.4GHz-WPS」および「5GHz-WPS」ランプが点滅します。





4b 本製品の背面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「次へ」をタップまたはクリックします。





※PASSKEY の入力では大文字・小文字にご注意ください。
※お客様で PASSKEY を設定された場合は、設定内容が反映されます。

5 **左下の画面が表示されたら「はい」をタップまたはクリックします。**
ネットワーク SSID に、「接続済み」と表示されていれば接続完了です。



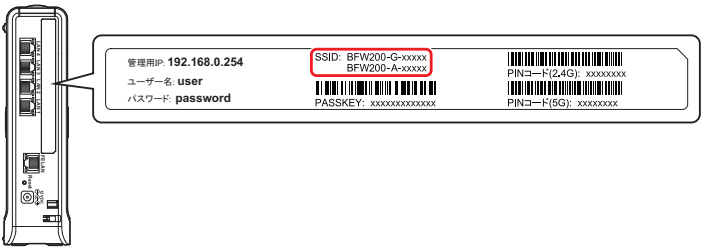
Windows 7 の場合

1 タスクトレイ（デスクトップ右下）の「ネットワーク」アイコンをクリックします。



※「ネットワーク」アイコンは、▲［隠れているインジケーターを表示します］ボタンの中に隠れている場合があります。

2 表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続するネットワーク SSID を選択し、「接続」をクリックします。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。

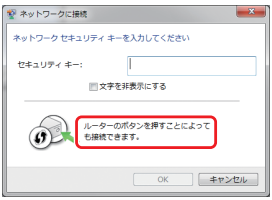


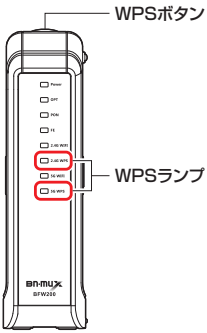


※お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

3 ネットワークセキュリティキーを入力する画面が表示されます。
その際、本製品の「WPS」ボタンを押して接続する方法（4a）と、セキュリティキーを入力する方法（4b）と２種類あります。

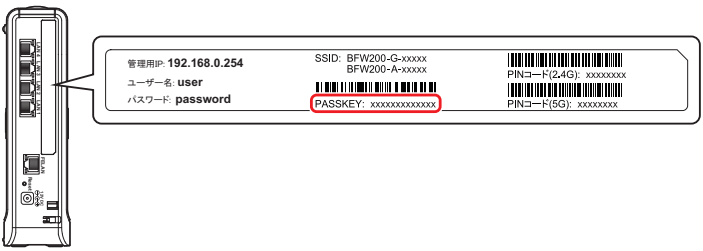
4a 表示された画面に「ルーターのボタンを押すことによっても接続できます。」の記述があれば、この状態で、本製品の「WPS」ボタンを押すことで接続することができます。
「WPS」ボタンを 3 秒以上押し続け、その後、ボタンを離すと WPS 機能が動作します。
WPS 動作中は、本製品前面の「2.4GHz-WPS」および「5GHz-WPS」ランプが点滅します。

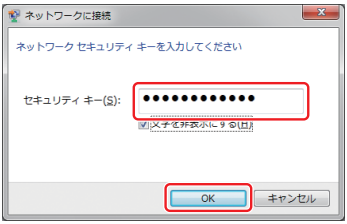




※ご使用のパソコンが「IEEE802.11b/g」および「IEEE802.11a」両対応の場合は、どちらか一方の規格でのみ WPS 接続が使用できます。接続しようとしている SSID で WPS 接続が実行できない場合は、パソコンを再起動し、再度実行してみてください。

4b 本製品の背面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「次へ」または「OK」をクリックします。





※PASSKEY の入力では大文字・小文字にご注意ください。

※お客様で PASSKEY を設定された場合は、設定内容が反映されます。

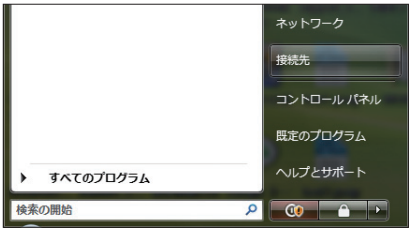
※OS のバージョンなどにより、ネットワークプロファイルを保存するかどうかを選択する画面が表示される場合があります。その際は、すべての項目にチェックが入っている状態で画面を閉じてください。

5 タスクトレイ（デスクトップ右下）の「ネットワーク」アイコンを再度クリックして、「接続」と表示されていれば接続完了です。

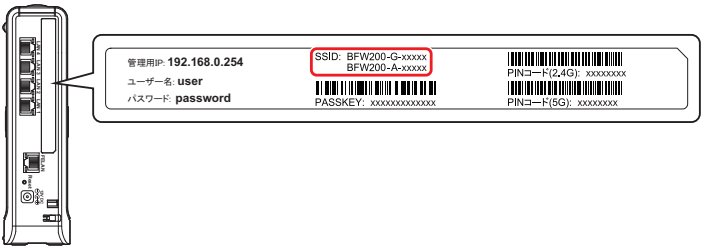


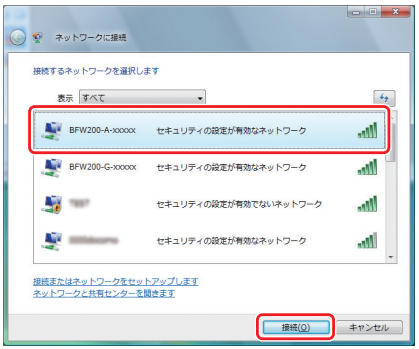
Windows Vista の場合

1 デスクトップ左下の「スタート」ボタンをクリックして、スタートメニュー右側に表示された「接続先」をクリックします。



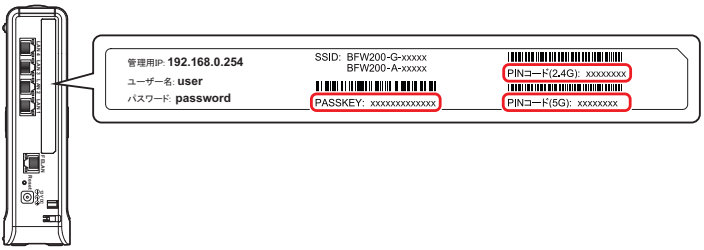
2 表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続するネットワーク SSID を選択し、「接続」をクリックします。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



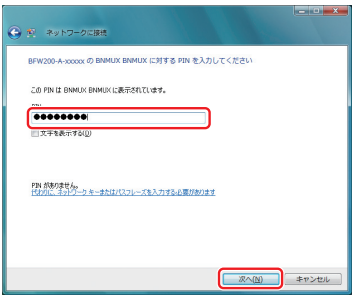


※お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

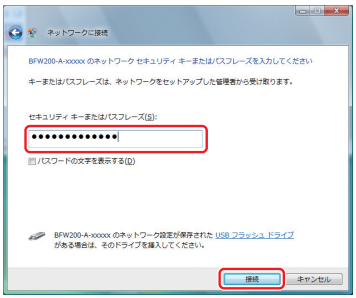
3 PIN コードを入力する画面、またはネットワークセキュリティキーを入力する画面が表示されます。
その場合は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「PIN コード」または「PASSKEY」を入力して「次へ」または「接続」ボタンをクリックします。



■ PIN コードで接続する場合



■ セキュリティキー（PASSKEY）で接続する場合

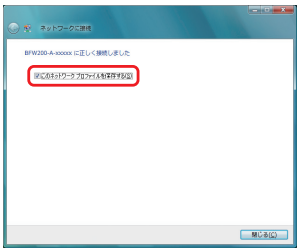


※PASSKEY の入力では大文字・小文字にご注意ください。
※お客様で PASSKEY を設定された場合は、設定内容が反映されます。

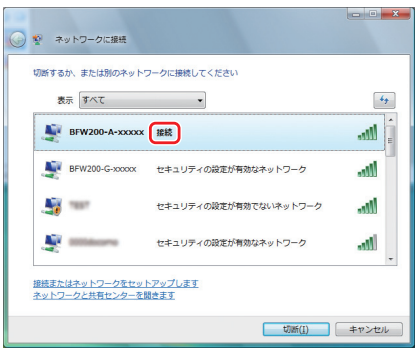
4 **PIN コードを入力すると、「接続しました」と画面に表示されます。その際、「このネットワーク プロファイルを保存する」にチェックが入っている状態で画面を閉じてください。**

※セキュリティキー(PASSKEY)を入力した場合は手順5の画面が表示されます。なお、OSのバージョンなどにより、ネットワークプロファイルを保存するかどうかを選択する画面が表示される場合があります。その際は、すべての項目にチェックが入っている状態で画面を閉じてください。

■ PIN コードで接続する場合

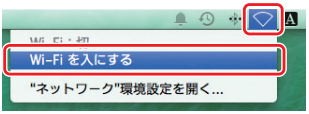


5 **デスクトップ左下の「スタート」ボタンを再度クリックして、スタートメニュー右側に表示された「接続先」をクリックし、ネットワーク SSID の後に「接続」と表示されていれば接続完了です。**

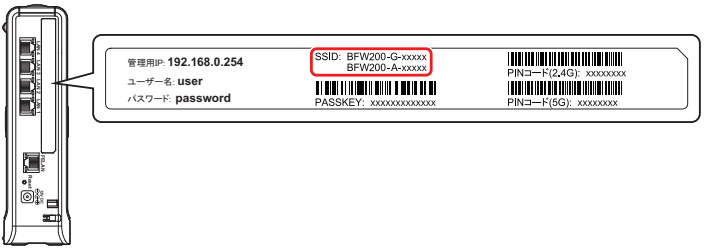


Mac OS X の場合

1 デスクトップ右上の「無線」アイコンをクリックし、「Wi-Fi を入にする」をクリックして、無線 LAN 機能を有効にします。



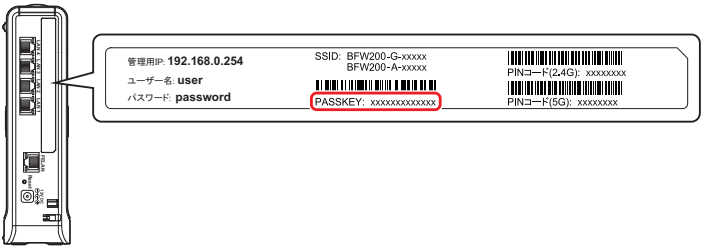
2 デスクトップ右上の「無線」アイコンをクリックし、表示されたワイヤレスネットワークのリストから、接続するネットワーク SSID をクリックします。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。





※お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

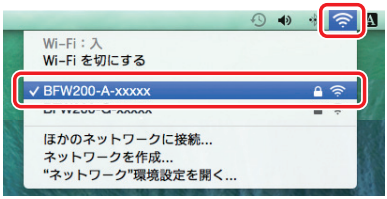
3 パスワードを入力する画面が表示されます。
本製品の背面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して、「このネットワークを記憶」にチェックが入った状態で「接続」をクリックします。





※PASSKEY の入力では大文字・小文字にご注意ください。
※お客様で PASSKEY を設定された場合は、設定内容が反映されます。

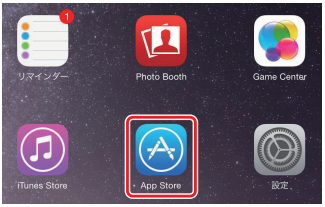
4 デスクトップ右上の「無線」アイコンをクリックし、SSID の前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。



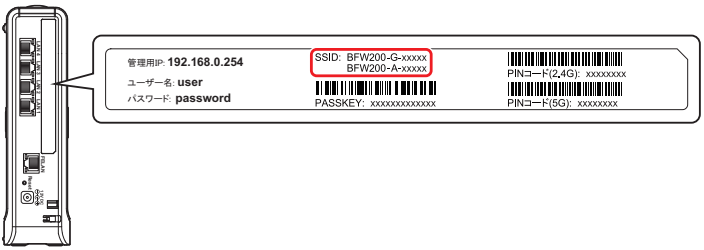
■ スマートフォンなどの携帯端末と本製品を無線 LAN で接続する

iPad ／ iPhone の場合

1　画面上の「設定」アイコンをタップします。



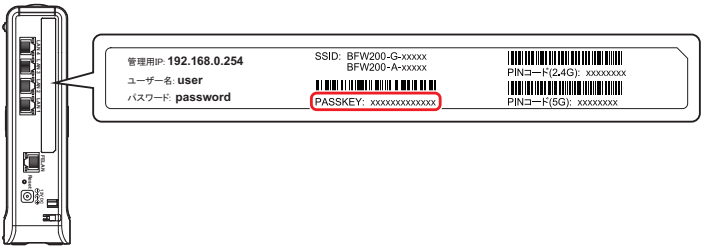
2　設定項目の「Wi-Fi」をタップして、ワイヤレスネットワークを選択する一覧から、接続するネットワーク SSID をタップします。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。





※「Wi-Fi」が OFF（オフ）の場合は、ON（オン）にしてください。
※お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

3 パスワードを入力する画面が表示されます。
本製品の背面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「接続」をタップします。





※PASSKEY の入力では大文字・小文字にご注意ください。
※お客様の PASSKEY を設定された場合は、設定内容が反映されます。

4 SSID の前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。



※SSID の右にあるⓘボタンをタップするとアドレスの取得内容が確認できます。



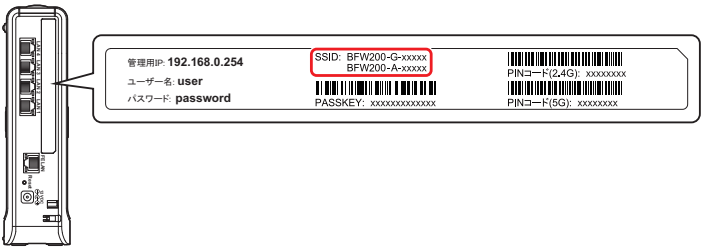
※端末の OS バージョンにより画面が多少異なる場合があります。

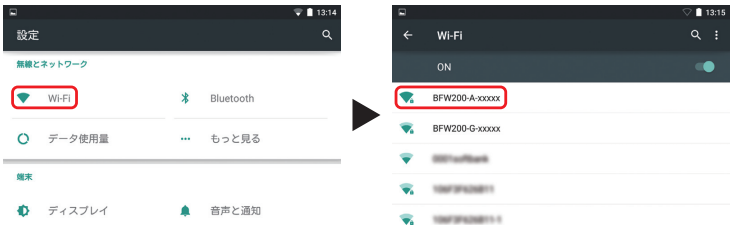
Android 端末（バージョン 5.1）の場合

1 画面上端から下へスワイプし、表示されたメニューから「設定」アイコンをタップします。



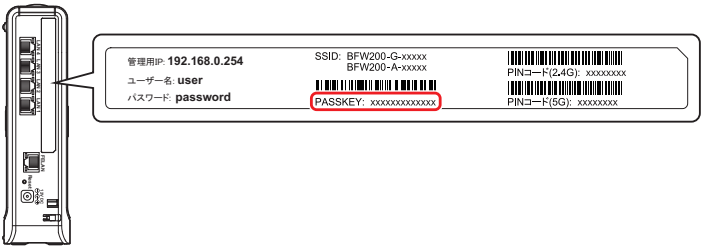
2 設定画面で「Wi-Fi」をタップして、表示されたワイヤレスネットワークの一覧から接続するネットワーク SSID をタップします。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。

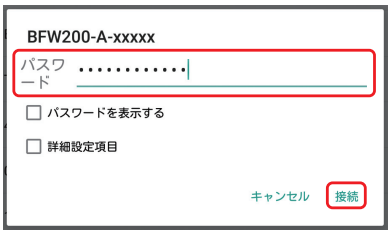




※「Wi-Fi」が OFF（オフ）の場合は、ON（オン）にしてください。
※お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

3 パスワードを入力する画面が表示されます。
本製品の背面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「接続」をタップします。





※PASSKEY の入力では大文字・小文字にご注意ください。
※お客様で PASSKEY を設定された場合は、設定内容が反映されます。

4 Wi-Fi 欄に「接続済み」と表示されていれば接続完了です。



※接続済みのネットワーク SSID をタップすると接続状況の詳細が確認できます。
※端末の OS バージョン、発売メーカーにより画面が多少異なる場合があります。

■ WEP 認証でネットワーク機器と本製品を無線 LAN で接続する

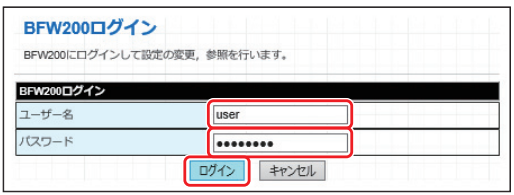
接続する機器の無線認証が WEP 方式のみ対応している場合（ニンテンドー DS/DS Lite など）、本製品に別途 WEP の設定が必要になります。以下の手順では、新たに有効にした 2.4GHz 帯のセカンダリ SSID1 に設定する手順を説明しています。
（本製品の工場出荷状態は、WEP 認証が無効になっています。）

1 **本製品とパソコンを有線 LAN で接続した状態で、Internet Explorer などの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.0.254」（本製品の管理用 IP アドレス）と入力し、キーボードの ENTER キーまたは Web ブラウザのアクセスボタンをクリックします。**



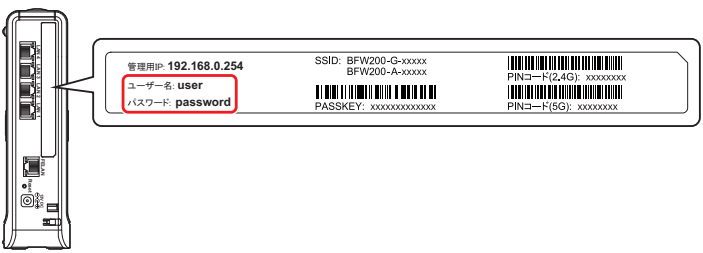
※お客様で管理用 IP アドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。

2 **BFW200 ログイン画面が表示されます。ユーザー名入力欄に「ユーザー名」を、パスワード入力欄に「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。**

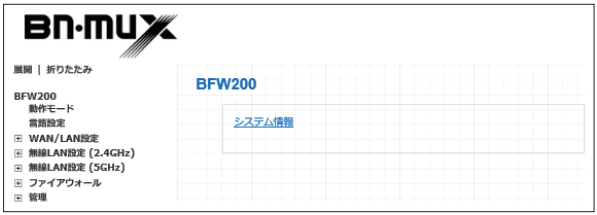


※お客様でユーザー名とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

※「ユーザー名」、「パスワード」の工場出荷時の初期値は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」と「パスワード」をご確認ください。

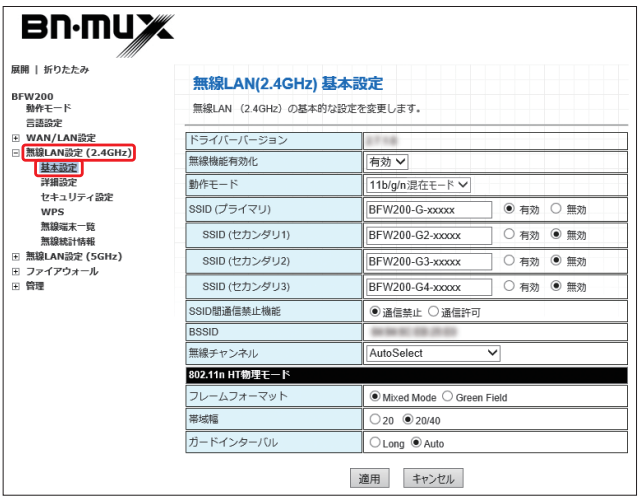


3 トップ画面が表示されます。

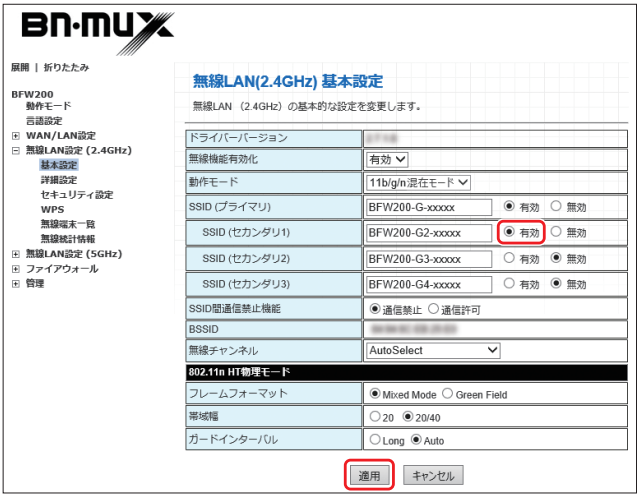


※英語表記に切り替えたいときは、表示された左側メニューの「言語設定」を選択し、プルダウンメニューから「English」を選択し、「適用」をクリックします。

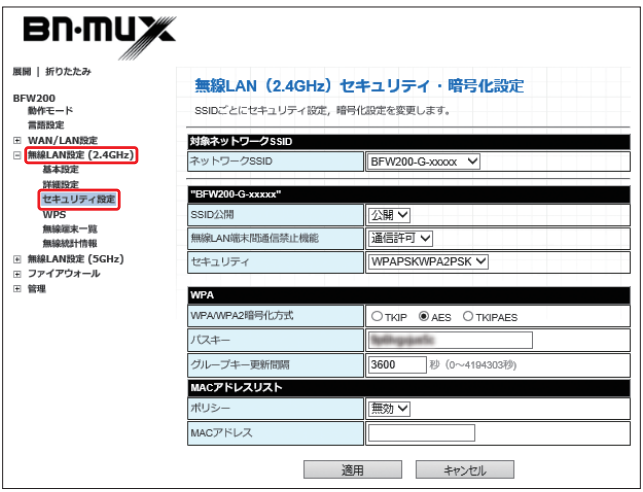
4 **表示されたページの左側メニューの「無線 LAN 設定（2.4GHz）/（5GHz）」－「基本設定」を選択します。**（画面例は無線 LAN 設定（2.4GHz）を選択した場合）



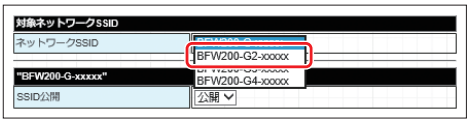
5 **WEP を設定する SSID（セカンダリ 1 ～ 3）の「有効」を選択して、「適用」をクリックします。**（画面例はセカンダリ SSID1 の「BFW200-G2-xxxxx」を選択した場合）



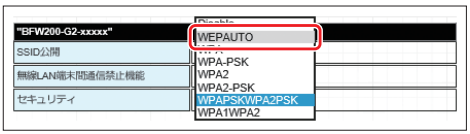
6 **左側メニューの「無線 LAN 設定（2.4GHz)/(5GHz)」－「セキュリティ設定」を選択します。**



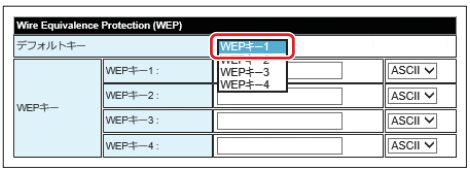
7 **表示された画面の「ネットワーク SSID」でセカンダリ SSID1 ～ 3 の「BFW200-G2 ～ G4-xxxxx」のいずれかを選択します。**（画面例はセカンダリ SSID 1 の「BFW200-G2-XXXXX」を選択した場合）



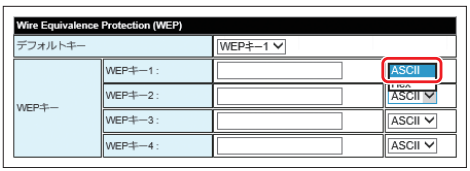
8 **「セキュリティ」で「WEPAUTO」を選択します。**



9 **使用するデフォルトキー番号を選択します。**



10 **WEP キーの入力形式を選択します。**



11 **WEP キーの文字列（任意）を入力し、「適用」をクリックします。**



※手順8で選択した入力形式の文字列（任意）を入力します。
ASCII：半角英数字 5 文字または 13 文字で入力します。
Hex：　半角英数字 16 進数 10 文字または 26 文字で入力します。

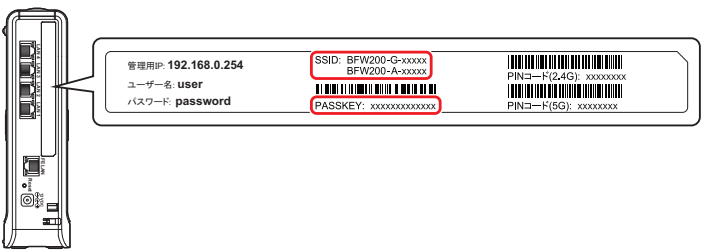
●設定が開始され、しばらくして本製品が自動的に再起動を行うと WEP 設定は完了です。Web ブラウザを閉じてください。

12 **接続する無線機器に「ネットワーク SSID」と「WEP 認証用デフォルトキー」をそれぞれ設定すれば完了です。**

※具体的な設定方法や接続確認方法およびトラブルシューティングなどは、接続する無線機器の取扱説明書の内容にしたがってください。

■ その他の機器と本製品を無線 LAN で接続する

本製品の背面にあるラベルに記載されている「SSID」と「PASSKEY」を確認してください。（お客様で設定された場合は、設定後の値が有効になります。）
詳細な接続方法については、接続するネットワーク機器の取扱説明書にしたがってください。



※PASSKEY の入力では大文字・小文字にご注意ください。

3 詳細な設定

本製品の詳細な設定の確認・変更は、Web ブラウザ（Internet Explorer など）を使って Web 設定画面から行います。

※工場出荷時の初期値でご使用になることができます。その場合は詳細な設定での操作は必要ありません。

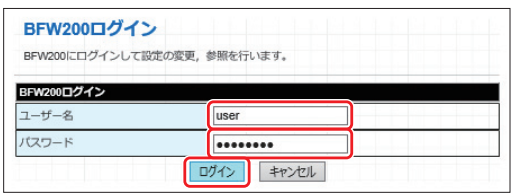
■ Web 設定画面で設定する

1 **本製品とパソコンを接続した状態で、Internet Explorer などの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.0.254」（本製品の管理用 IP アドレス）を入力し、キーボードの ENTER キーまたは Web ブラウザのアクセスボタンをクリックします。**



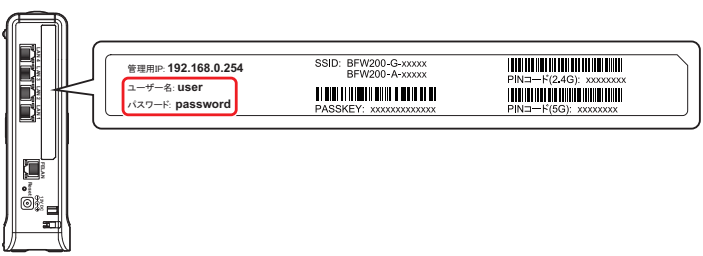
※お客様で管理用 IP アドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。

2 **BFW200 ログイン画面が表示されます。ユーザー名入力欄に「ユーザー名」を、パスワード入力欄に「パスワード」を入力し、「適用」をクリックします。**

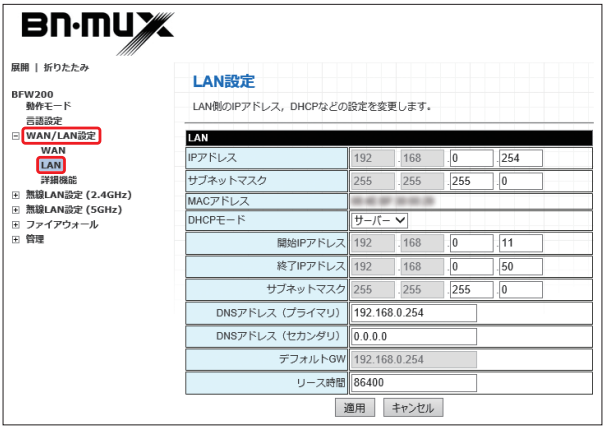


※お客様でユーザー名とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

※「ユーザー名」、「パスワード」の工場出荷時の初期値は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」と「パスワード」をご確認ください。



3 **トップ画面が表示されます。画面左側のメニューをクリックすると、各項目の詳細設定画面が表示されます。**



※英語表記に切り替えたいときは、表示された左側メニューの「言語設定」を選択し、プルダウンメニューから「English」を選択し、「適用」をクリックします。

メニュー項目	内　容
動作モード	ブリッジ／ルーターの動作モードを切り替えます。
言語設定	Web 設定画面の表記を日本語／英語に切り替えます。
WAN/LAN 設定	WAN 側および LAN 側ネットワークに関する設定を行います。 WAN 設定、LAN 設定、詳細設定など
無線 LAN 設定 (2.4GHz)	2.4GHz 帯の無線 LAN に関する設定を行います。 基本設定、詳細設定、セキュリティ設定、WPS 設定など
無線 LAN 設定 (5GHz)	5GHz 帯の無線 LAN に関する設定を行います。 基本設定、詳細設定、セキュリティ設定、WPS 設定など
ファイアウォール	ファイアウォール機能に関する設定を行います。 フィルタリング設定、ポートフォワーディング設定、DMZ 設定など
管理	管理に関する設定を行います。 ファームウェア更新、パスワード変更、設定値の保存・復元、初期化、装置情報および設定内容の確認など

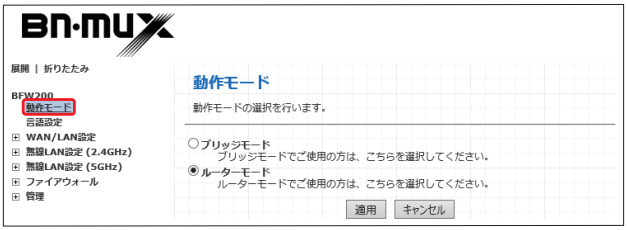
4 **変更した設定を保存するには、各項目にある「適用」をクリックします。変更した設定を保存しない場合は「キャンセル」をクリックします。**

※「適用」をクリックしないまま、次の設定項目の設定を行った場合は前の設定項目の変更内容は保存されません。

※次ページからの Web 設定画面の説明では「適用」および「キャンセル」の説明は省略させていただきます。

動作モード

本製品のブリッジモード、ルーターモードの２つの動作モードがあります。



本製品に内蔵するルーター機能を有効にする場合にルーターモードでご使用ください。
ブリッジモードを選択すると、装置内部のルーター機能が無効となります。

注 意

動作モードを不用意に変更すると通信サービスを正常に受けられなくなることがあります。動作モードの選択は、ご契約された事業者の指示にしたがってください。特に指定がない場合にはルーターモードでご使用ください。

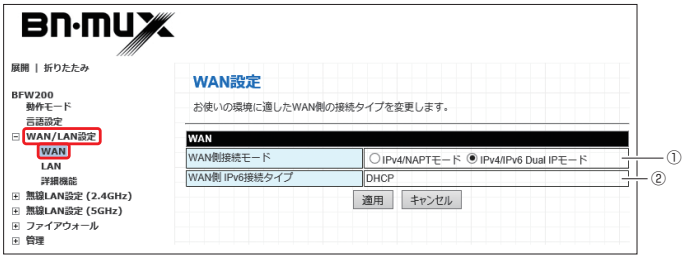
言語設定

操作画面を英語表記に変更することができます。英語表記に切り替えたいときは、プルダウンメニューから「英語」を選択し、「適用」をクリックします。
英語表記から日本語表記に切り替えたいときは、「Japanese」を選択し、「Apply」をクリックします。



WAN/LAN 設定ー WAN

内蔵するルーターの WAN 側接続モードを切り替えます。



◆ WAN 設定

①WAN 側接続モード

下記のいずれかのモードを連絡します。

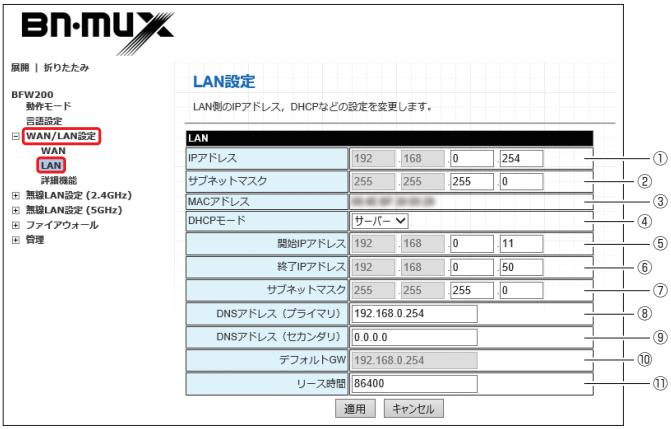
- **IPv4/NAPT モード**：IPv4 専用モードです。IPv6 による通信はできません。
- **IPv4/IPv6 Dual IP モード**：IPv4、IPv6 の両方で通信が可能な Dual Stack モードです。

②WAN 側 IPv6 接続タイプ

常に「DHCP」と表示され、変更はできません。
WAN 側 IPv6 アドレスは DHCP で設定されます。

WAN/LAN 設定ー LAN

本製品の LAN 側ネットワークに関する設定を行います。



◆ LAN 設定

①**IP アドレス**（初期値：192.168.0.254）
本製品の IP アドレスを設定します。

②**サブネットマスク**（初期値：255.255.255.0）
本製品のサブネットマスクを設定します。

③**MAC アドレス**
本製品の MAC アドレスが表示されます。

④**DHCP モード**（初期値：Server）　Server ／無効
DHCP サーバを動作させ IP アドレス、サブネットマスクなどの設定に必要な情報を提供します。

⑤**開始 IP アドレス**（初期値：192.168.0.11）
DHCP サーバが提供する IP アドレスの開始アドレスを設定します。

⑥**終了 IP アドレス**（初期値：192.168.0.50）
DHCP サーバが提供する IP アドレスの終了アドレスを設定します。

⑦**サブネットマスク**（初期値：255.255.255.0）
DHCP サーバが提供するサブネットマスクを設定します。

⑧**DNS アドレス（プライマリ）**（初期値：192.168.0.254）
DHCP サーバが提供する DNS アドレス（プライマリ）を設定します。

⑨**DNS アドレス（セカンダリ）**（初期値：0.0.0.0）
DHCP サーバが提供する DNS アドレス（セカンダリ）を設定します。

⑩**デフォルト GW**（初期値：192.168.0.254）
DHCP サーバが提供するデフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。

⑪**リース時間**（初期値：86400 秒）
DHCP サーバが提供する IP アドレスのリース時間を設定します。

WAN/LAN 設定－詳細機能

本製品の LAN 側ネットワークに関する詳細な設定を行います。

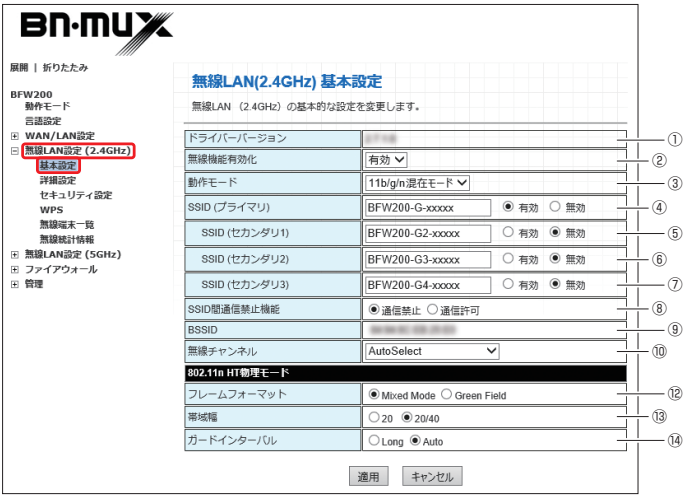


①**UPnP**（初期値：有効）

UPnP（Universal Plug and Play）機能の有効／無効を設定します。

無線 LAN 設定（2.4GHz）－基本設定

2.4GHz 帯の無線 LAN に関する設定を行います。



① ドライバーバージョン

無線 LAN のドライバーバージョンを表示します。

②無線機能有効化（初期値：有効）

2.4GHz の無線機能の有効／無効を切り替えます。

③動作モード（初期値：11b/g/n 混在モード）

本製品の 2.4GHz 帯の無線 LAN 動作モードを設定します。

- **11b/g 混在モード**
- **11b モード**
- **11g モード**
- **11b/g/n 混在モード**

④SSID（プライマリ）（初期値：BFW200-G-XXXXX）

2.4GHz 帯の SSID（プライマリ）を設定します。

※初期値の「XXXXX」は本製品の WAN 側 MAC アドレスの末尾 5 桁が表示されます。

有効 / 無効（初期値：有効）

⑤SSID（セカンダリ 1）（初期値：BFW200-G2-XXXXX）

2.4GHz 帯の SSID（セカンダリ 1）を設定します。

※初期値の「XXXXX」は本製品の WAN 側 MAC アドレスの末尾 5 桁が表示されます。

有効 / 無効（初期値：無効）

⑥**SSID（セカンダリ 2）**（初期値：BFW200-G3-XXXXX）
2.4GHz 帯の SSID（セカンダリ 2）を設定します。
※初期値の「XXXXX」は本製品の WAN 側 MAC アドレスの末尾 5 桁が表示されます。
有効 / 無効（初期値：無効）
⑦**SSID（セカンダリ 3）**（初期値：BFW200-G4-XXXXX）
2.4GHz 帯の SSID（セカンダリ 3）を設定します。
※初期値の「XXXXX」は本製品の WAN 側 MAC アドレスの末尾 5 桁が表示されます。
有効 / 無効（初期値：無効）
⑧**SSID 間通信禁止機能**（初期値：通信禁止）
異なる SSID の無線 LAN 端末間の通信を禁止する機能を設定します。
- **通信禁止**
- **通信許可**

⑨**BSSID**
本製品の BSSID（Basic Service Set Identifier）が表示されます。
⑩**無線チャンネル**（初期値：AutoSelect）
無線 LAN 通信で使用するチャンネルを選択します。
電波干渉がある場合には、使用するチャンネルを変更してください。
複数の無線 LAN アクセスポイントを設置する場合には、チャンネルを変更してください。各無線 LAN アクセスポイントが、異なるチャンネルを使用することによって、電波干渉を軽減できます。
- **「AutoSelect」**および**「Channel1」**～**「Channel13」**の間で設定できます。

⑪**Rate**（初期値：Auto）
通信レートを設定します。
※動作モードで「11b/g/n 混在モード」を選択した場合には表示されません。
- 動作モードで「11b/g 混在モード」または「11g モード」を選択した場合：
  「Auto」および「1/2/5.5/6/9/11/12/18/24/36/48/54Mbps」から設定できます。
- 動作モードで「11b モード」を選択した場合：
  「Auto」および「1/2/5.5/11Mbps」から設定できます。

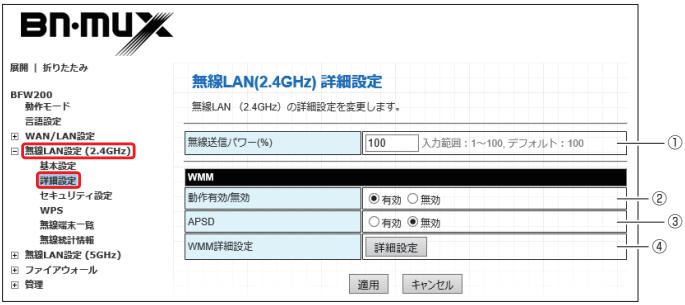
◆ 802.11n HT 物理モード
※⑫～⑭までの項目は、動作モードで「11b/g/n 混在モード」を選択した場合に表示されます。
⑫**フレームフォーマット**（初期値：Mixed Mode）
フレームフォーマットを設定します。
- Mixed Mode
- Green Field

⑬**帯域幅**（初期値：20/40）
帯域幅を設定します。
- 20
- 20/40

⑭**ガードインターバル**（初期値：Auto）
ガードインターバルの時間を調整し、マルチパスの発生を少なくして、マルチパスの影響を最小限に抑えます。
- Long
- Auto

無線 LAN 設定（2.4GHz）－詳細設定

2.4GHz 帯の無線 LAN に関する詳細な設定を行います。



①**無線送信パワー**（初期値：100）

本製品の送信パワーを調整します。他のネットワークへの電波干渉回避の目的で使用します。また、送信パワーを低下させ通信可能範囲を縮小することにより、外部からの不正アクセス等のセキュリティの脅威を回避できる場合があります。

◆ **WMM**

②**動作有効 / 無効**（初期値：有効）

WMM（Wi-Fi Multimedia）とは、無線 LAN を通じて音声通話（VoIP）や音声や動画のストリーミング配信、オンラインゲームなどリアルタイム性が必要な通信を行う際、それらを Web 閲覧など他の通信より優先的に取り扱う機能です。

③**APSD**（初期値：無効）

自動省電力機能（APSD：automatic power save delivery）を有効にします。

WMM が無効の場合は、自動省電力機能を使用することはできません。

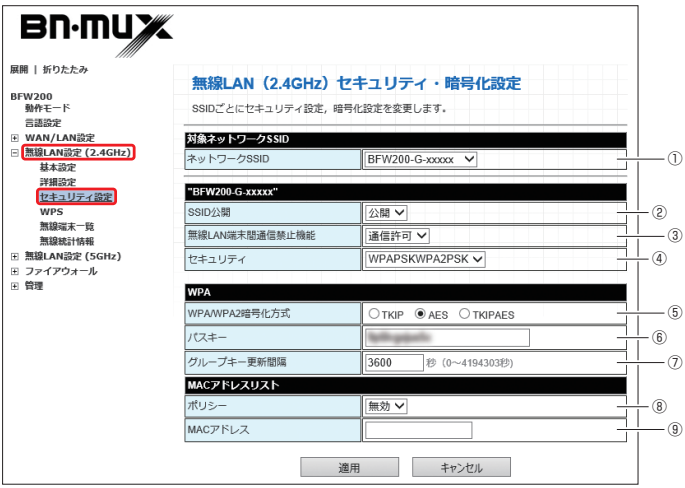
④**WMM 詳細設定**

「詳細設定」をクリックすると、WMM の詳細パラメータを変更することができます。

無線 LAN 設定（2.4GHz）－セキュリティ設定

2.4GHz 帯の無線 LAN のセキュリティに関する設定を行います。

■ セキュリティで「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPAPSKWPA2PSK」を選択した場合



◆ 対象ネットワーク SSID

①ネットワーク SSID

セキュリティ設定を行う SSID を選択します。

◆ “BFW200-G-XXXXX”

②SSID 公開（初期値：有効）

無線ネットワーク名（SSID）を公開するか、隠蔽するか設定します。

③無線 LAN 端末間通信禁止機能

（初期値：プライマリ SSID は通信許可、セカンダリ SSID1 ～ 3 は通信禁止）

同一 SSID 配下の無線 LAN 端末間の通信を禁止する機能を設定します。

④セキュリティ（初期値：WPAPSKWPA2PSK）

無線の暗号化を設定します。暗号化を行うと、データを暗号化してから無線電波を発信します。

- Disable
- WEPAUTO*1
- WPA-PSK
- WPA2-PSK
- WPAPSKWPA2PSK

*1：「WEPAUTO」を選択した場合、IEEE802.11n の無線 LAN モードは使用できません。

◆ WPA

※セキュリティで「Disable」を選択した場合は⑤～⑦の項目は表示されません。

※セキュリティで「WEPAUTO」を選択した場合は「■ セキュリティで「WEPAUTO」を選択した場合」を参照してください。

⑤**WPA/WPA2 暗号化方式**（初期値：AES）

WPA および WPA2 の暗号化方式を設定します。

- **TKIP**[*2]
- **AES**
- **TKIPAES**

*2：「TKIP」を選択した場合、IEEE802.11n の無線 LAN モードは使用できません。

⑥**パスキー**

パスキー（PASSKEY）を設定します。

⑦**グループキー交換間隔**（初期値：3600）

WPA-PSK で使用するキーの更新間隔を設定します。

◆ MAC アドレスリスト

⑧**ポリシー**（初期値：無効）

無線 LAN 接続に対する MAC アドレスフィルタを設定することができます。

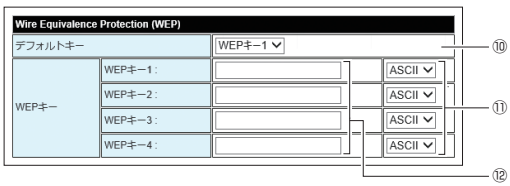
- **無効**： MAC アドレスフィルタ機能を無効にします。
- **許可**：下記の「MAC アドレス」欄に入力した MAC アドレスを持つ無線 LAN 端末の接続を許可します。（それ以外の無線 LAN 端末の接続は拒否されます。）
- **拒否**：下記の「MAC アドレス」欄に入力した MAC アドレスを持つ無線 LAN 端末の接続を拒否します。（それ以外の無線 LAN 端末の接続は許可されます。）

⑨**MAC アドレス**

対象となる MAC アドレスを入力します。

（形式［コロン区切り］：xx:xx:xx:xx:xx:xx）

■ セキュリティで「WEPAUTO」を選択した場合



◆ Wired Equivalent Privacy（WEP）

⑩**デフォルトキー**（初期値：WEP キー 1）

使用するデフォルトキー番号を設定します。

⑪**入力形式**（初期値：ASCII）

デフォルトキーの入力形式を設定します。

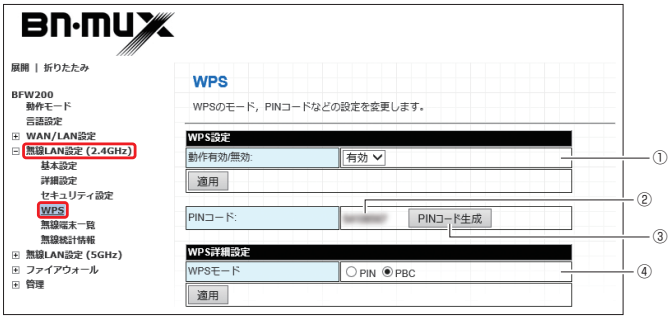
- **ASCII**：半角英数字 5 文字または 13 文字で入力します。
- **Hex**： 半角英数字 16 進数 10 文字または 26 文字で入力します。

⑫**WEP キー**（WEP キー 1 ～ 4）

入力形式で設定した文字列（任意）をそれぞれ入力します。

無線 LAN 設定（2.4GHz）– WPS

2.4GHz 帯の無線 LAN の WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能についての設定を行います。



◆ WPS 設定

①**動作有効 / 無効**（初期値：有効）

WPS 機能の有効 / 無効を設定します。

②**PIN コード**

PIN コードが表示されます。

③**PIN コード生成ボタン**

PIN コードを自動生成させます。

◆ WPS 詳細設定

④**WPS モード**（初期値：PBC）

WPS モードを設定します。

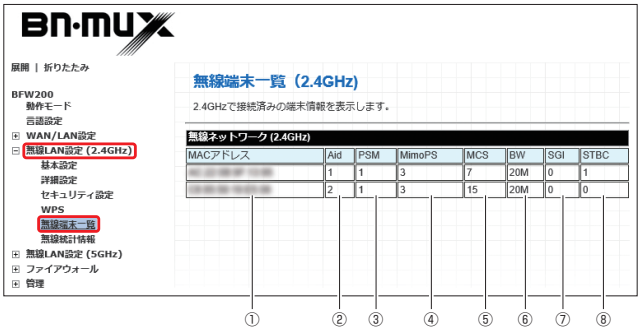
- **PIN**：PIN 方式
- **PBC**：プッシュボタン方式

⑤**PIN コード**（上記の「WPS モード」で「PIN」を選択した場合）

PIN コードを入力します。

無線 LAN 設定（2.4GHz）－無線端末一覧

2.4GHz 帯の無線 LAN で本製品に接続されている無線端末の一覧を表示します。



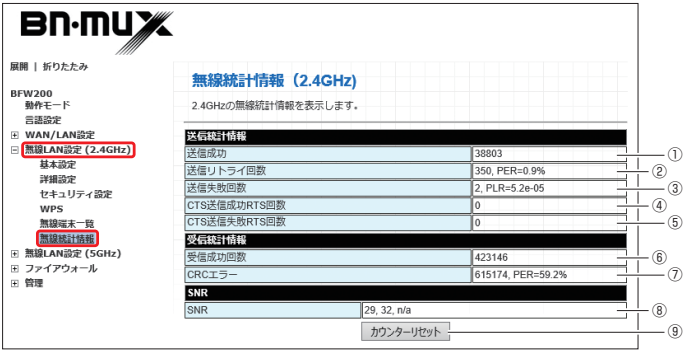
以下の項目が表示されます。

◆ 無線ネットワーク（2.4GHz）

①MAC アドレス
②Aid
③PSM
④MimoPS
⑤MCS
⑥BW
⑦SGI
⑧STBC

無線 LAN 設定（2.4GHz）－無線統計情報

2.4GHz の無線 LAN の統計情報を一覧表示します。



以下の情報が表示されます。

◆ 送信統計情報

①送信成功

②送信リトライ回数

③送信失敗回数

④CTS 送信成功 RTS 回数

⑤CTS 送信失敗 RTS 回数

◆ 受信統計情報

⑥受信成功回数

⑦CRC エラー

◆ SNR

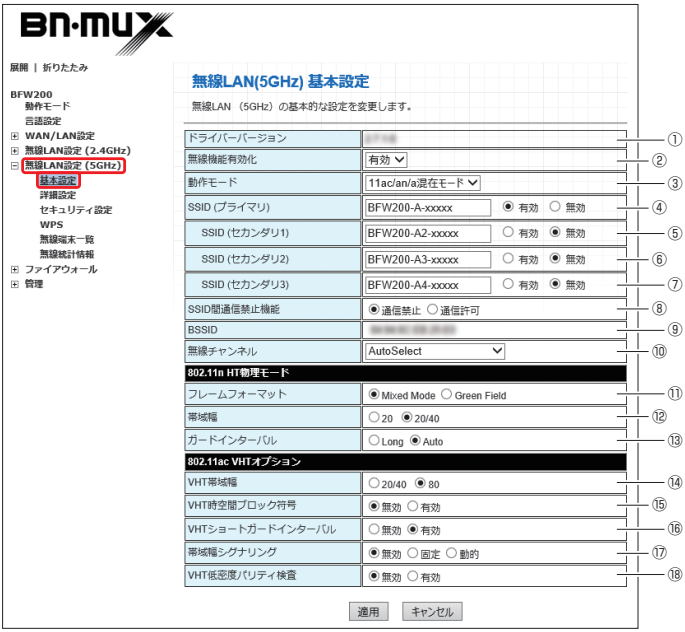
⑧SNR

⑨カウンターリセットボタン

無線統計情報をリセットするときにクリックします。

無線 LAN 設定（5GHz）−基本設定

5GHz 帯の無線 LAN に関する設定を行います。



① ドライバーバージョン

無線 LAN のドライバーバージョンを表示します。

②無線機能有効化（初期値：有効）

5GHz 帯の無線機能の有効／無効を切り替えます。

③動作モード（初期値：11ac/n/a 混在モード）

本製品の 5GHz 帯の無線 LAN 動作モードを設定します。

- **11a モード**
- **11a/n 混在モード**
- **11ac/n/a 混在モード**
- **11ac/n 混在モード**

④SSID（プライマリ）（初期値：BFW200-A-XXXXX）

5GHz 帯の SSID（プライマリ）を設定します。

※初期値の「XXXXX」は本製品の WAN 側 MAC アドレスの末尾 5 桁が表示されます。

有効 / 無効（初期値：有効）

⑤**SSID（セカンダリ 1）**（初期値：BFW200-A2-XXXXX）
5GHz 帯の SSID（セカンダリ 1）を設定します。
※初期値の「XXXXX」は本製品の WAN 側 MAC アドレスの末尾 5 桁が表示されます。
有効 / 無効（初期値：無効）
⑥**SSID（セカンダリ 2）**（初期値：BFW200-A3-XXXXX）
5GHz 帯の SSID（セカンダリ 2）を設定します。
※初期値の「XXXXX」は本製品の WAN 側 MAC アドレスの末尾 5 桁が表示されます。
有効 / 無効（初期値：無効）
⑦**SSID（セカンダリ 3）**（初期値：BFW200-A4-XXXXX）
5GHz 帯の SSID（セカンダリ 3）を設定します。
※初期値の「XXXXX」は本製品の WAN 側 MAC アドレスの末尾 5 桁が表示されます。
有効 / 無効（初期値：無効）
⑧**SSID 間通信禁止機能**（初期値：通信禁止）
異なる SSID の無線 LAN 端末間の通信を禁止する機能を設定します。
- **通信禁止**
- **通信許可**

⑨BSSID
本製品の BSSID（Basic Service Set Identifier）が表示されます。
⑩**無線チャンネル**（初期値：AutoSelect）
無線 LAN 通信で使用するチャンネルを選択します。
電波干渉がある場合には、使用するチャンネルを変更してください。
複数の無線 LAN アクセスポイントを設置する場合には、チャンネルを変更してください。各無線 LAN アクセスポイントが、異なるチャンネルを使用することによって、電波干渉を軽減できます。
- **「AutoSelect」**および**「Channel 36 ／ 40 ／ 44 ／ 48 ／ 52 ／ 56 ／ 60 ／ 64 ／ 100 ／ 104 ／ 108 ／ 112 ／ 116 ／ 120 ／ 124 ／ 128 ／ 132 ／ 136 ／ 140」**から設定できます。

◆ 802.11n HT 物理モード
※⑪～⑬までの項目は、動作モードで「11a モード」以外を選択した場合に表示されます。
⑪**フレームフォーマット**（初期値：Mixed Mode）
フレームフォーマットを設定します。
- **Mixed Mode**
- **Green Field**

⑫**帯域幅**（初期値：20/40）
帯域幅を設定します。
- **20**
- **20/40**

⑬**ガードインターバル**（初期値：Auto）
ガードインターバルの時間を調整し、マルチパスの発生を少なくして、マルチパスの影響を最小限に抑えます。
- **Long**
- **Auto**

◆ 802.11ac VHT オプション

※⑭～⑱までの項目は、動作モードで「11ac/n/a 混在モード」または「11ac/n 混在モード」を選択した場合に表示されます。

⑭ **VHT 帯域幅**（初期値：80）

VHT 帯域幅を設定します。

- **20/40**
- **80**

⑮ **VHT 時空間ブロック符号**（初期値：無効）

VHT 時空間ブロック符号を設定します。

- **無効**
- **有効**

⑯ **VHT ショートガードインターバル**（初期値：無効）

VHT ショートガードインターバルを設定します。

- **無効**
- **有効**

⑰ **帯域幅シグナリング**（初期値：無効）

帯域幅シグナリングを設定します。

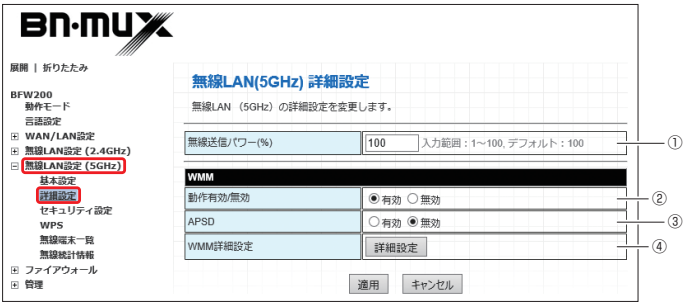
- **無効**
- **固定**
- **動的**

⑱ **VHT 低密度パリティ検査**（初期値：無効）

- **無効**
- **有効**

無線 LAN 設定（5GHz）－詳細設定

5GHz 帯の無線 LAN に関する詳細な設定を行います。



①**無線送信パワー**（初期値：100）

本製品の送信パワーを調整します。他のネットワークへの電波干渉回避の目的で使用します。また、送信パワーを低下させ通信可能範囲を縮小することにより、外部からの不正アクセス等のセキュリティの脅威を回避できる場合があります。

◆ **WMM**

②**動作有効 / 無効**（初期値：有効）

WMM（Wi-Fi Multimedia）とは、無線 LAN を通じて音声通話（VoIP）や音声や動画のストリーミング配信、オンラインゲームなどリアルタイム性が必要な通信を行う際、それらを Web 閲覧など他の通信より優先的に取り扱う機能です。

③**APSD**（初期値：無効）

自動省電力機能（APSD：automatic power save delivery）を有効にします。

WMM が無効の場合は、自動省電力機能を使用することはできません。

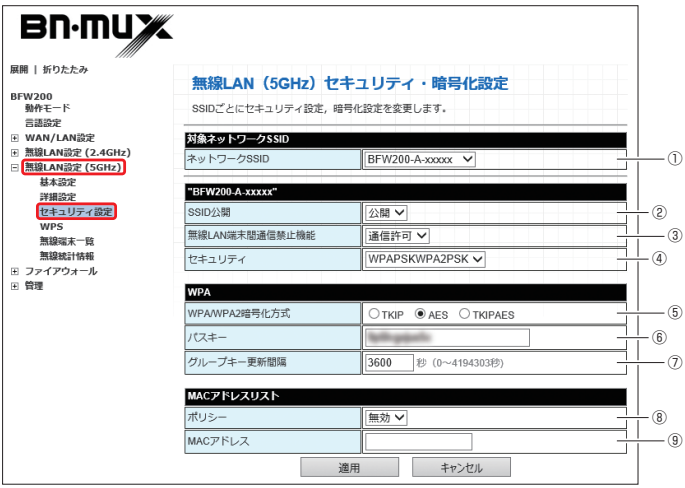
④**WMM 詳細設定**

「詳細設定」をクリックすると、WMM の詳細パラメータを変更することができます。

無線 LAN 設定（5GHz）－セキュリティ設定

5GHz 帯の無線 LAN のセキュリティに関する設定を行います。

■ セキュリティで「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPAPSKWPA2PSK」を選択した場合



◆ 対象ネットワーク SSID

①ネットワーク SSID

セキュリティ設定を行う SSID を選択します。

◆ “BFW200-A-XXXXX”

②SSID 公開（初期値：有効）

無線ネットワーク名（SSID）を公開するか、隠蔽するか設定します。

③無線 LAN 端末間通信禁止機能

（初期値：プライマリ SSID は通信許可、セカンダリ SSID1 ～ 3 は通信禁止）

同一 SSID 配下の無線 LAN 端末間の通信を禁止する機能を設定します。

④セキュリティ（初期値：WPAPSKWPA2PSK）

無線の暗号化を設定します。暗号化を行うと、データを暗号化してから無線電波を発信します。

- Disable
- WEPAUTO*1
- WPA-PSK
- WPA2-PSK
- WPAPSKWPA2PSK

*1：「WEPAUTO」を選択した場合、IEEE802.11n の無線 LAN モードは使用できません。

◆ WPA

※セキュリティで「Disable」を選択した場合は⑤～⑦の項目は表示されません。

※セキュリティで「WEPAUTO」を選択した場合は「■ セキュリティで「WEPAUTO」を選択した場合」を参照してください。

⑤**WPA/WPA2 暗号化方式**（初期値：AES）

WPA および WPA2 の暗号化方式を設定します。

- **TKIP**[*2]
- **AES**
- **TKIPAES**

*2：「TKIP」を選択した場合、IEEE802.11n の無線 LAN モードは使用できません。

⑥**パスキー**

パスキー（PASSKEY）を設定します。

⑦**グループキー交換間隔**（初期値：3600）

WPA-PSK で使用するキーの更新間隔を設定します。

◆ MAC アドレスリスト

⑧**ポリシー**（初期値：無効）

無線 LAN 接続に対する MAC アドレスフィルタを設定することができます。

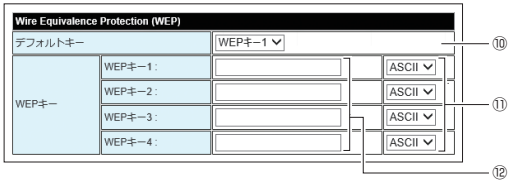
- **無効**： MAC アドレスフィルタ機能を無効にします。
- **許可**：下記の「MAC アドレス」欄に入力した MAC アドレスを持つ無線 LAN 端末の接続を許可します。（それ以外の無線 LAN 端末の接続は拒否されます。）
- **拒否**：下記の「MAC アドレス」欄に入力した MAC アドレスを持つ無線 LAN 端末の接続を拒否します。（それ以外の無線 LAN 端末の接続は許可されます。）

⑨**MAC アドレス**

対象となる MAC アドレスを入力します。

（形式［コロン区切り］：xx:xx:xx:xx:xx:xx）

■ セキュリティで「WEPAUTO」を選択した場合



◆ Wired Equivalent Privacy（WEP）

⑩**デフォルトキー**（初期値：WEP キー 1）

使用するデフォルトキー番号を設定します。

⑪**入力形式**（初期値：ASCII）

デフォルトキーの入力形式を設定します。

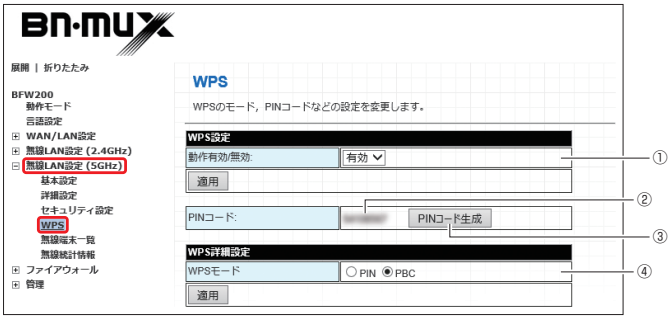
- **ASCII**：半角英数字 5 文字または 13 文字で入力します。
- **Hex**： 半角英数字 16 進数 10 文字または 26 文字で入力します。

⑫**WEP キー**（WEP キー 1 ～ 4）

入力形式で設定した文字列（任意）をそれぞれ入力します。

無線 LAN 設定（5GHz）– WPS

5GHz 帯の無線 LAN の WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能についての設定を行います。



◆ **WPS 設定**

①**動作有効 / 無効**（初期値：有効）

WPS 機能の有効 / 無効を設定します。

②**PIN コード**

PIN コードが表示されます。

③**PIN コード生成ボタン**

PIN コードを自動生成させます。

◆ **WPS 詳細設定**

④**WPS モード**（初期値：PBC）

WPS モードを設定します。

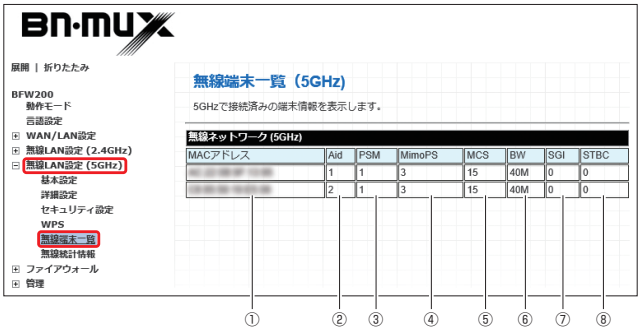
- **PIN**：PIN 方式
- **PBC**：プッシュボタン方式

⑤**PIN コード**（上記の「WPS モード」で「PIN」を選択した場合）

PIN コードを入力します。

無線 LAN 設定（5GHz）－無線端末一覧

5GHz 帯の無線 LAN で本製品に接続されている無線端末の一覧を表示します。



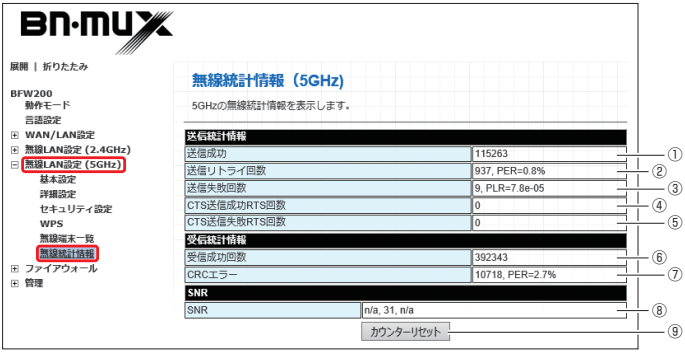
以下の項目が表示されます。

◆ 無線ネットワーク（5GHz）

①MAC アドレス
②Aid
③PSM
④MimoPS
⑤MCS
⑥BW
⑦SGI
⑧STBC

無線 LAN 設定（5GHz）－無線統計情報

5GHz の無線 LAN の統計情報を一覧表示します。



以下の情報が表示されます。

◆ 送信統計情報

①送信成功

②送信リトライ回数

③送信失敗回数

④CTS 送信成功 RTS 回数

⑤CTS 送信失敗 RTS 回数

◆ 受信統計情報

⑥受信成功回数

⑦CRC エラー

◆ SNR

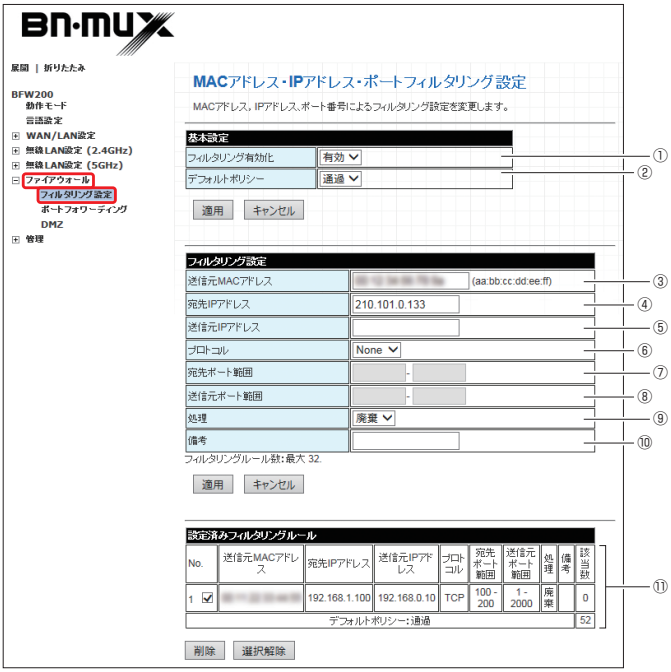
⑧SNR

⑨カウンターリセットボタン

無線統計情報をリセットするときにクリックします。

ファイアウォール－フィルタリング設定

MAC アドレス、IP アドレス、ポート番号によるフィルタリング設定を行います。



◆ 基本設定

①フィルタリング有効化（初期値：無効）

フィルタリング機能の有効 / 無効を設定します。

②デフォルトポリシー（初期値：廃棄）

フィルタリングしたパケットのデフォルトの処理（通過 / 廃棄）を設定します。

◆ フィルタリング設定

③送信元 MAC アドレス

フィルタリングの対象となる送信元 MAC アドレスを入力します。

④宛先 IP アドレス

フィルタリングの対象となる宛先 IP アドレスを入力します。

⑤送信元 IP アドレス

フィルタリングの対象となる送信元 IP アドレスを入力します。

⑥**プロトコル**（初期値：None）

フィルタリングの対象となるプロトコルタイプを選択します。

※プロトコルをフィルタリングの対象としない場合は「None」を選択します。

※「TCP」と「UDP」を選択した場合のみ、⑦と⑧の項目が有効になります。

- None
- TCP
- UDP
- ICMP

⑦**宛先ポート範囲**

フィルタリングの対象範囲となる宛先ポート番号を入力します。

⑧**送信元ポート範囲**

フィルタリングの対象範囲となる送信元ポート番号を入力します。

⑨**処理**（初期値：通過）

フィルタリングしたパケットの処理（通過 / 廃棄）を設定します。

⑩**備考**

コメントなどを自由に入力できます。設定した内容を区別するのに便利です。

＜設定を保存する＞

1. 基本設定のフィルタリング有効化で「有効」を選択し、デフォルトポリシーを選択して、基本設定の「適用」をクリックします。
2. フィルタリング設定に必要な項目を選択および入力します。
3. フィルタリング設定の「適用」をクリックして設定を保存します。
4. 保存した設定が「⑪フィルタリング設定リスト」に表示されます。
   ※設定は最大 32 件まで保存できます。

◆ 設定済みフィルタリングルール

⑪**フィルタリング設定リスト**

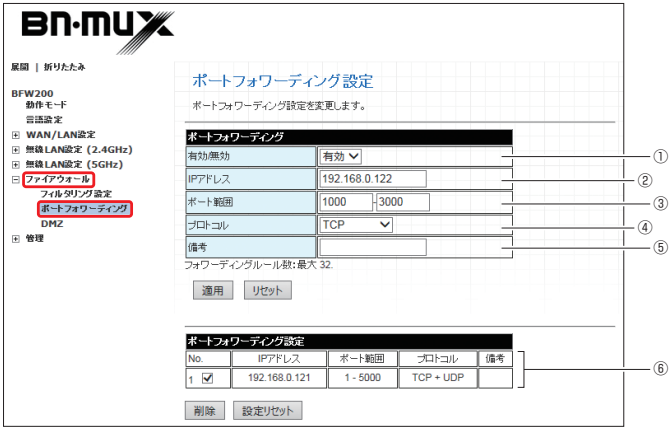
フィルタリング設定で「適用」をクリックして保存した設定がリストとして表示されます。

＜設定を削除する＞

1. 削除したい設定リストの「No.」欄にチェックを入れて、「削除」をクリックします。

ファイアウォール－ポートフォワーディング

ポートフォワーディング（ポート転送機能）に関する設定を行います。



◆ ポートフォワーディング設定

①有効 / 無効（初期値：無効）

ポートフォワーディング機能の有効 / 無効を設定します。

※「有効」を選択した場合のみ、②～⑤の項目が有効になります。

②IP アドレス

ポートフォワーディングの対象となるクライアントの IP アドレスを入力します。

③ポート範囲

ポートフォワーディングの対象範囲となるポート番号を入力します。

④プロトコル（初期値：TCP&UDP）

ポートフォワーディングの対象となるプロトコルタイプを選択します。

- TCP&UDP
- TCP
- UDP

⑤備考

コメントなどを自由に入力できます。設定した内容を区別するのに便利です。

＜設定を保存する＞

1. 有効 / 無効で「有効」を選択します。
2. 設定に必要な項目を選択および入力します。
3. 「適用」をクリックして設定を保存します。
4. 保存した設定が「⑥ポートフォワーディング設定リスト」に表示されます。
   ※設定は最大 32 件まで保存できます。

◆ ポートフォワーディング設定

⑥ポートフォワーディング設定リスト

ポートフォワーディング設定で「適用」をクリックして保存した設定がリストとして表示されます。

＜設定を削除する＞

1. 削除したい設定リストの「No.」欄にチェックを入れて、「削除」をクリックします。

ファイアウォール－ DMZ

DMZ に関する設定を行います。



◆ DMZ 設定

①有効 / 無効（初期値：無効）

DMZ 設定を有効に設定すると、外部からのすべてのパケットを 1 台のホストに中継します。

②IP アドレス

パケットを中継するホストの IP アドレスを入力します。

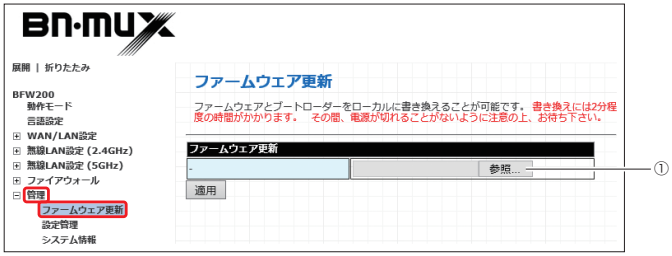
③TCP80 番ポートを除く

転送対象ポート番号を「TCP80」以外にする場合に、チェックします。

管理－ファームウェア更新

手動でファームウェアを更新するときに操作します。

※ ファームウェアは自動更新されますが、手動更新が必要な場合は、「ファームウェアの更新」（☞ 80 ページ参照）を参照してください。

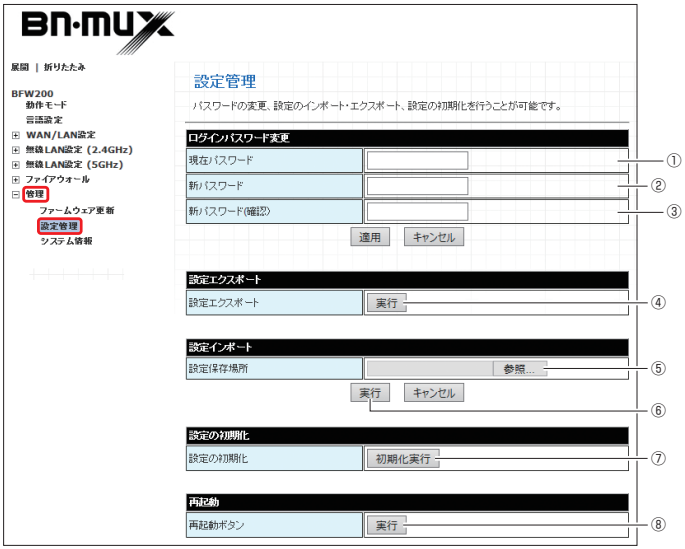


①参照ボタン

ダウンロードしたファームウェアを指定します。

管理－設定管理

パスワードの変更、設定値の保存・復元および本製品を工場出荷状態に戻すときに操作します。



◆ ログインパスワード変更

①現在パスワード

現在使用しているパスワードを入力します。

②新パスワード

新しく設定するパスワードを入力します。

③新パスワード（確認）

もう一度、新しいパスワードを入力します。

◆ 設定エクスポート

④設定エクスポート実行ボタン

設定値を保存するときにクリックします。（☞ 87 ページ「設定値の保存」参照）

◆ 設定インポート

⑤参照ボタン

設定内容を保存したバックアップファイルを指定します。（☞ 90 ページ「設定値の復元」参照）

⑥設定インポート実行ボタン

設定値を復元するときにクリックします。（☞ 90 ページ「設定値の復元」参照）

◆ 設定の初期化

⑦初期化実行ボタン

本製品を初期化するときにクリックします。（☞ 84 ページ「Web 設定画面で初期化する」参照）

◆ 再起動

⑧再起動ボタン

本製品を再起動するときにクリックします。

管理－システム情報

本製品の装置情報や設定内容を表示します。



以下の情報が表示されます。

◆ システム情報

①ファームウェアバージョン

②ファームウェア更新日

③起動時間

◆ NTP に関する情報

④前回同期時刻

⑤NTP サーバ情報

◆ WAN に関する情報
⑥接続タイプ
⑦WAN IP アドレス
⑧サブネットマスク
⑨デフォルト GW
⑩DNS（プライマリ）
⑪DNS（セカンダリ）
⑫WAN MAC アドレス
⑬WAN IPv6 アドレス（global）
⑭WAN IPv6 アドレス（link-local）
⑮WAN DHCP IPv6 デフォルト GW
⑯WAN IPv6 DNS（プライマリ）
⑰WAN IPv6 DNS（セカンダリ）

◆ LAN に関する情報
⑱IP アドレス
⑲サブネットマスク
⑳LAN MAC アドレス
㉑LAN IPv6 アドレス（global）
㉒LAN IPv6 アドレス（link-local）
㉓LAN IPv6 DNS（プライマリ）
㉔LAN IPv6 DNS（セカンダリ）

◆ IPv4 DHCP 端末一覧
㉕LAN 側に接続されている IPv4 端末のホスト名、MAC アドレス、IP アドレス、リース時間のリストを表示します。

◆ IPv6 端末一覧
㉖ LAN 側に接続されている IPv6 端末の MAC アドレス、IP アドレスのリストを表示します。

4 メンテナンス

■ ファームウェアの更新

本製品は最新のファームウェアが提供されると自動的にファームウェアの更新を行いますので、通常お客様にファームウェア更新の操作を行っていただく必要はありません。
ただし、ご契約された事業者の指示がある場合は、以下の手順でファームウェアの更新を行ってください。
※ファームウェア更新中は、一時的にインターネットや映像コンテンツ視聴などのサービスがご利用になれない場合があります。

ファームウェアを手動更新する

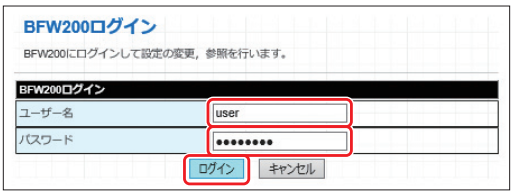
1 **ご契約された事業者指定の事業者指定の URL にアクセスして、最新のファームウェアをダウンロードします。**

2 **本製品とパソコンを有線 LAN で接続した状態で、Internet Explorer などの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.0.254」（本製品の管理用 IP アドレス）を入力し、キーボードの ENTER キーまたは Web ブラウザのアクセスボタンをクリックします。**

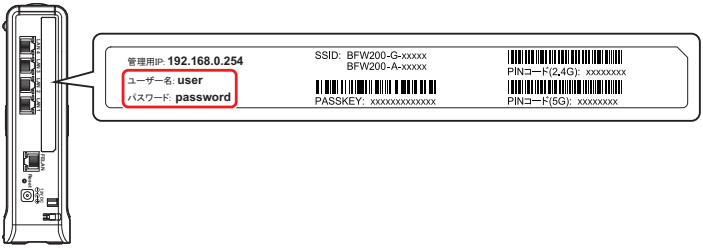


※お客様で管理用 IP アドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。

3 **BFW200 ログイン画面が表示されます。ユーザー名入力欄に「ユーザー名」を、パスワード入力欄に「パスワード」を入力し、「適用」をクリックします。**



※お客様でユーザー名とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。
※「ユーザー名」、「パスワード」の工場出荷時の初期値は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」と「パスワード」をご確認ください。

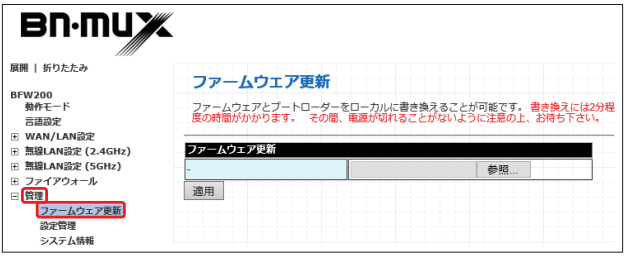


4 トップ画面が表示されます。



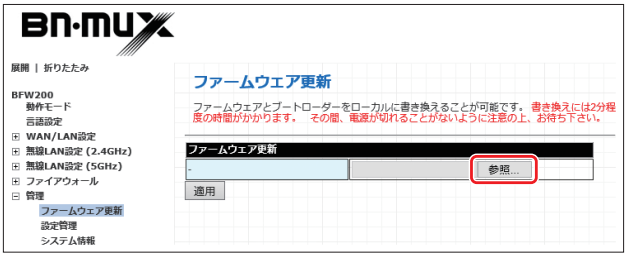
※英語表記に切り替えたいときは、表示された左側メニューの「言語設定」を選択し、プルダウンメニューから「English」を選択し、「適用」をクリックします。

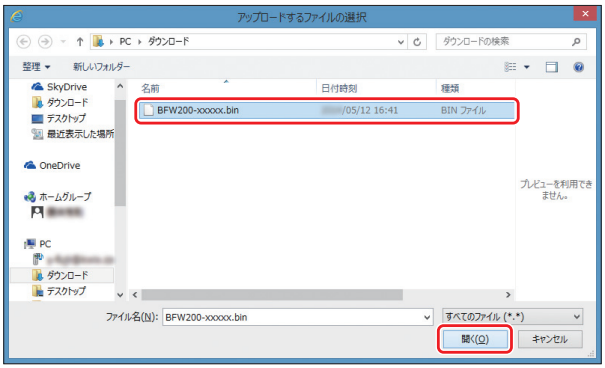
5 表示されたページの左側メニューの「管理」－「ファームウェア更新」を選択します。



6 「参照」をクリックし、ダウンロードしたファイルを指定します。

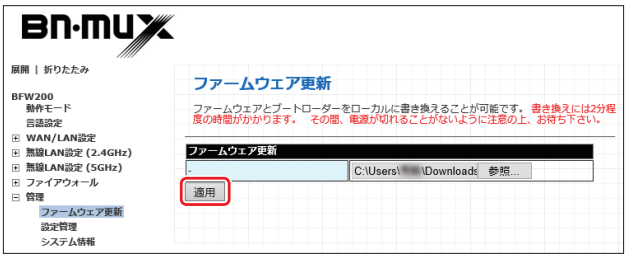
※バックアップファイルは、通常「ダウンロード」フォルダ内に保存されています。





7 「適用」をクリックします。

ファームウェアの更新が始まります。



注 意

ファームウェアの更新中は、本製品の電源を絶対に切らないでください。更新には 2 分程度時間がかかります。

■ 本製品の初期化

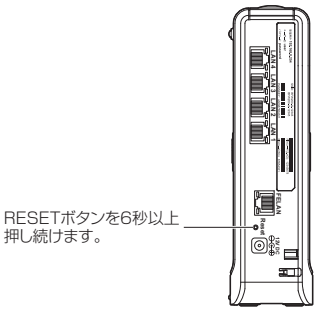
初期化とは、本製品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことです。
本製品が正常に動作しない場合や、パスワードを忘れた場合には本製品を初期化して、はじめから設定し直すことをお勧めします。
初期化する方法には、下記の 2 通りの方法があります。

- RESET ボタンで初期化する
- Web 設定画面で初期化する

いったん初期化すると、それまでに設定した値がすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

RESET ボタンで初期化する

本製品の電源が入った状態で背面の RESET ボタンを 6 秒以上押し続けると、再起動が始まり工場出荷状態に戻ります。



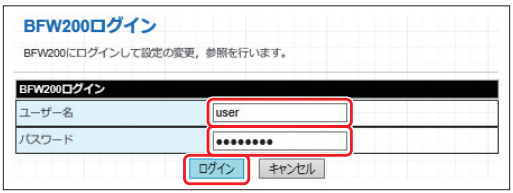
Web 設定画面で初期化する

1 本製品とパソコンを有線 LAN で接続した状態で、Internet Explorer などの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.0.254」（本製品の管理用 IP アドレス）を入力し、キーボードの ENTER キーまたは Web ブラウザのアクセスボタンをクリックします。



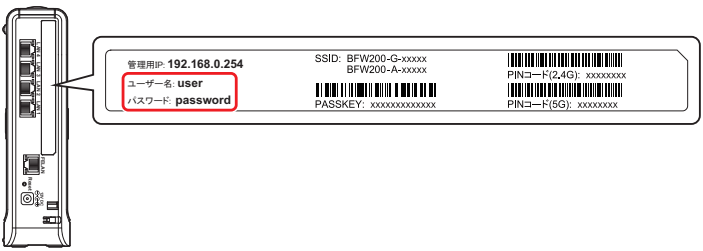
※お客様で管理用 IP アドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。

2 BFW200 ログイン画面が表示されます。ユーザー名入力欄に「ユーザー名」を、パスワード入力欄に「パスワード」を入力し、「適用」をクリックします。

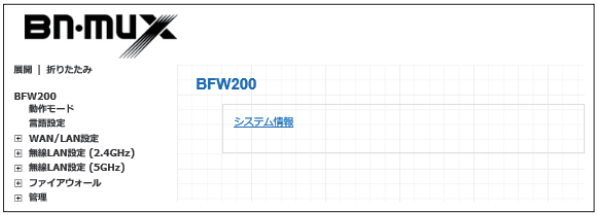


※お客様でユーザー名とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

※「ユーザー名」、「パスワード」の工場出荷時の初期値は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」と「パスワード」をご確認ください。

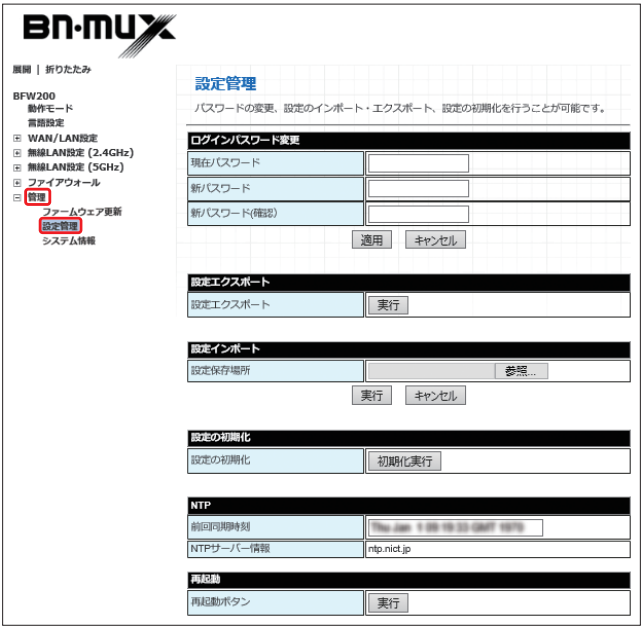


3 トップ画面が表示されます。

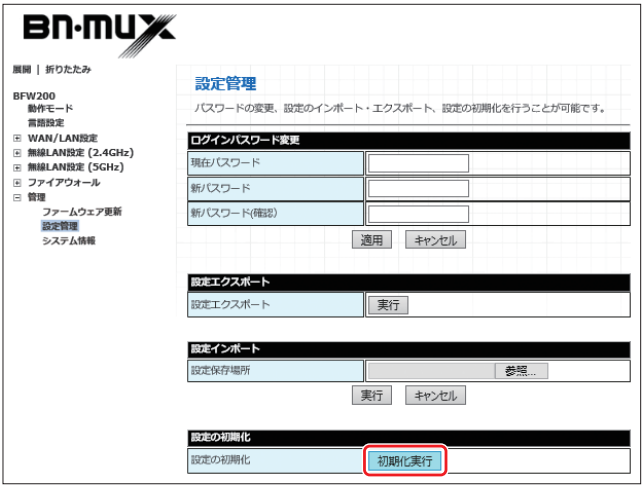


※英語表記に切り替えたいときは、表示された左側メニューの「言語設定」を選択し、プルダウンメニューから「English」を選択し、「適用」をクリックします。

4 表示されたページの左側メニューの「管理」－「設定管理」を選択します。



5 「初期化実行」をクリックします。



●初期化が開始され、しばらくして本製品が自動的に再起動を行うと初期化は完了です。
Web ブラウザを閉じてください。

■ 設定値の保存と復元

Web 設定画面で現在の本製品の設定内容をファイルに保存したり復元したりすることができます。
設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておくと、保存済みのバックアップファイルから本製品の設定内容を復元することができます。

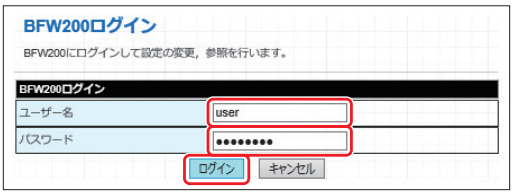
設定値の保存

1 **本製品とパソコンを有線 LAN で接続した状態で、Internet Explorer などの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.0.254」（本製品の管理用 IP アドレス）を入力し、キーボードの ENTER キーまたは Web ブラウザのアクセスボタンをクリックします。**

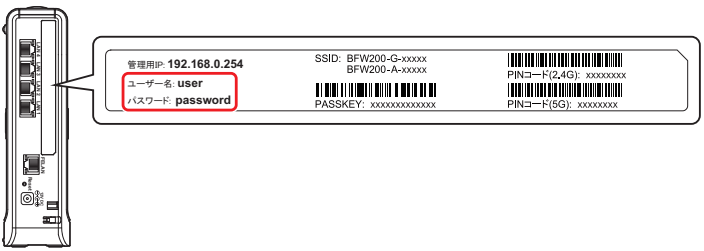


※お客様で管理用 IP アドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。

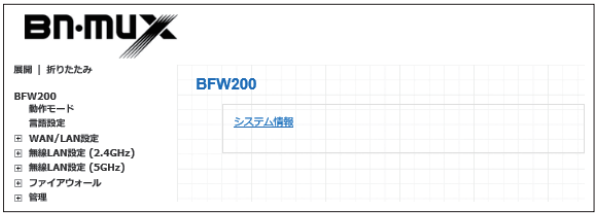
2 **BFW200 ログイン画面が表示されます。ユーザー名入力欄に「ユーザー名」を、パスワード入力欄に「パスワード」を入力し、「適用」をクリックします。**



※お客様でユーザー名とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。
※「ユーザー名」、「パスワード」の工場出荷時の初期値は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」と「パスワード」をご確認ください。

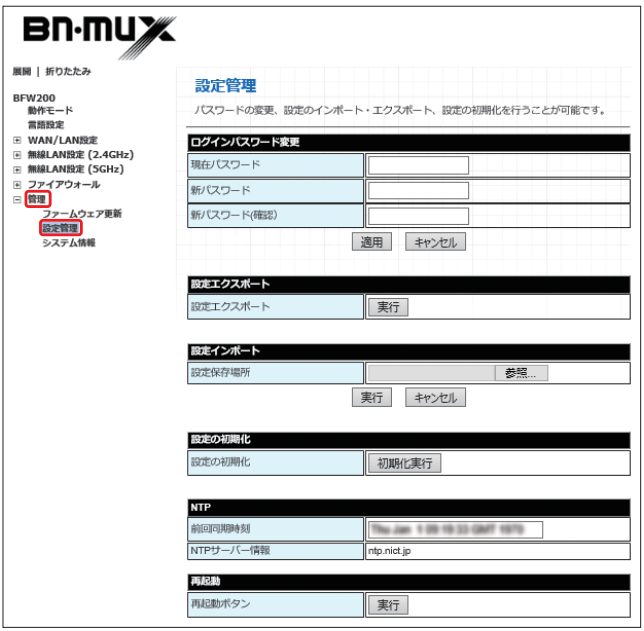


3 トップ画面が表示されます。

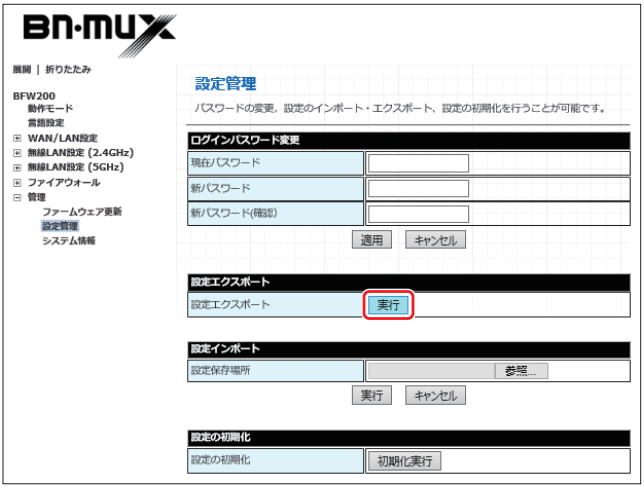


※英語表記に切り替えたいときは、表示された左側メニューの「言語設定」を選択し、プルダウンメニューから「English」を選択し、「適用」をクリックします。

4 表示されたページの左側メニューの「管理」－「設定管理」を選択します。

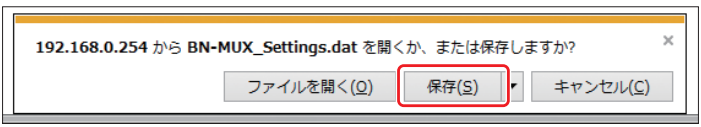


5 設定エクスポートの「実行」をクリックします。



6 「192.168.0.254 から BN-MUX_Settings.dat を開くか、または保存しますか？」と表示されたら、「保存」をクリックして、バックアップファイルを保存します。

※バックアップファイルは、通常「ダウンロード」フォルダ内に保存されます。

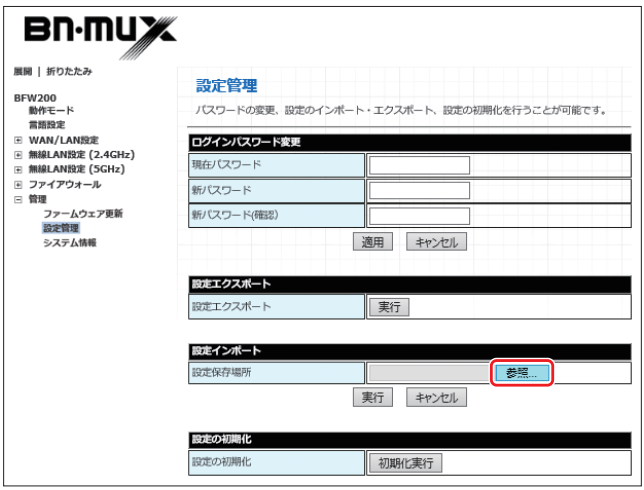


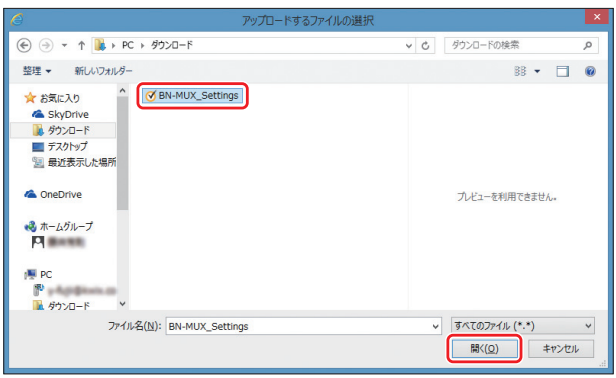
●バックアップファイルの保存が終了したら、設定エクスポートは完了です。Web ブラウザを閉じてください。

設定値の復元

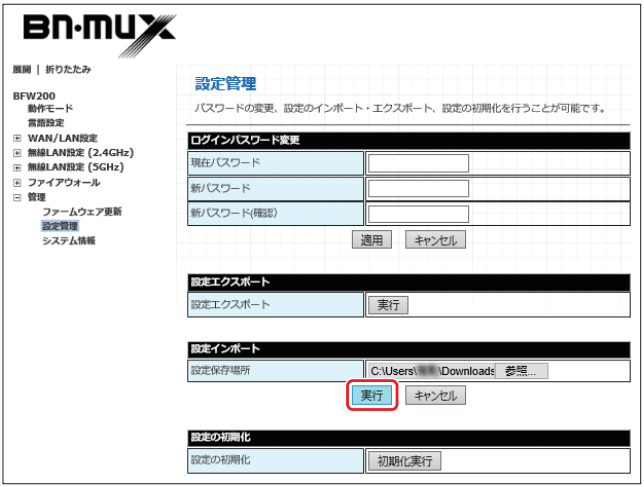
1 「設定値の保存」の手順1～4までを行います。

2 「参照」をクリックし、設定内容を保存したバックアップファイルを指定します。
※バックアップファイルは、通常「ダウンロード」フォルダ内に保存されています。





3 **設定インポートの「実行」をクリックします。**
設定値の復元を開始します。



●設定のインポートが開始され、しばらくして本製品が自動的に再起動を行うと設定インポートは完了です。Web ブラウザを閉じてください。

5 トラブルシューティング

トラブルが発生したときは、現在の症状をご確認のうえ、以下のページでその対処をご覧ください。
症状が改善しない場合は、ご契約された事業者へご連絡ください。

インターネットにつながらない	
対処	●「動作モード」が正しく設定されているか確認してください。ご契約された事業者から指定がない場合は、「ルーターモード」に設定してください。 ●「WAN/LAN 設定」の「LAN 設定」が正しく設定されているか確認してください。DHCP モードが「無効」に設定されているとパソコンの IP アドレスを自動取得できませんのでご注意ください。 ●本製品前面の OPT ランプと PON ランプが緑色に点灯しているか確認してください。万一、消灯または点滅しているときは、ご契約の事業者へご連絡ください。
無線がつながらない	
対処	●接続する機器に無線 LAN スイッチがある場合は、スイッチを ON にしてください。OFF になっていると無線 LAN で接続できない場合があります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書などを参照してください。 ●無線 LAN の「ネットワーク SSID」や「セキュリティキー」の設定が、本製品と接続する機器と同じであるか確認してください。半角英数記号を使用し、大文字・小文字を区別します。一致しないために接続できない場合があります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書などを参照してください。 ●接続するパソコンが IP アドレスや DNS サーバなどのアドレスを自動で取得する（DHCP 機能）設定になっているか確認してください。DHCP 機能を利用しない場合は、各パソコンに IP アドレスや DNS サーバのアドレスを手動で設定する必要があります。詳しくは、パソコン OS のヘルプなどを参照してください。 ●セキュリティ設定は、同じ無線 LAN ネットワーク上にあるすべての機器が同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なっている機器はネットワークに接続できません。 ●フィルタリング設定の条件によっては無線 LAN に接続できない場合があります。フィルタリング設定が正しく設定されているか確認してください。 ●電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮断された部屋などでは、無線 LAN の電波が届かなくなったり、通信遮断や速度低下などの不安定な状態になったりする場合があります。設置場所を変えるなど電波状態のよい場所でご使用ください。 ●設定を変更した後につながらなくなった場合や、設定が正しいのにつながらない場合は、いったんすべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。
他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない	
対処	●無線 LAN が正常に動作していても、ネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。ネットワーク設定を正しく設定してください。
Web 設定画面が表示できない	
対処	●本製品とパソコンが正しく接続されているか確認してください。 ●管理用 IP アドレス、ユーザー名、パスワードが正しく入力されているか確認してください。 ●本製品とパソコンを再起動してください。
ユーザー名やパスワードなどを忘れた	
対処	●工場出荷状態から変更していない場合は、本製品の背面にあるラベルに記載されている各値が初期値です。 ●工場出荷状態から変更したユーザー名やパスワードなどを忘れてしまった場合は、本製品を初期化し工場出荷状態に戻してから、再度設定をやり直してください。（☞ 83 ページ「本製品の初期化」参照）

6 付録

■ 仕様一覧

ハードウェア仕様		
項　目		仕　様
光インターフェース		SC 光コネクター、1 ポート
有線 LAN インターフェース	LAN1 ～ 4	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T（RJ-45）、4 ポート、オートネゴシエーション
	FE LAN	10BASE-T/100BASE-TX、1 ポート、オートネゴシエーション
ランプ表示	Power	電源 ON 時：緑点灯 起動中、ルーター部で IP アドレスの取得中およびファームウェアの更新中：緑点滅
	OPT	光ファイバー信号を正常受信時：緑点灯 光ファイバー信号を受信していない時：消灯
	PON	光ネットワークが正常動作中：緑点灯 光ネットワークが準備中：緑点滅 光ファイバー信号を受信していない時：消灯
	FE	FE LAN ポートがネットワーク機器と接続中：緑点灯 FE LAN ポートがデータを送受信中：緑点滅 FE LAN ポートがネットワーク機器と接続されていない時：消灯
	2.4G WIFI	2.4GHz 帯無線 LAN 動作中：緑点灯 2.4GHz 帯無線 LAN 通信中：緑点滅
	2.4G WPS	2.4GHz 帯 WPS 機能登録可能状態：緑点灯 2.4GHz 帯 WPS 機能で無線 LAN 機器登録中：緑点滅
	5G WIFI	5GHz 帯無線 LAN 動作中：緑点灯 5GHz 帯無線 LAN 通信中：緑点滅
	5G WPS	5GHz 帯 WPS 機能登録可能状態：緑点灯 5GHz 帯 WPS 機能で無線 LAN 機器登録中：緑点滅
操作部	WPS	WPS 機能で無線 LAN 機器を登録する
	RESET	再起動用スイッチ （6 秒以上の長押しで設定を初期化する）
筐体外観		縦置き・横置き／壁掛け共用型
動作環境		温度：0 ～ 40℃　湿度：10 ～ 90%（結露しないこと）
外形寸法		約 55（W）× 182（D）× 197（H）mm（突起部分を除く）
電源		本体：DC 12V（AC アダプタにて供給） AC アダプタ※：AC100 – 240V（50/60Hz）
消費電力（平均）		15W 以下（AC アダプタ含む）
質量		約 630g（AC アダプタ含まず）
電磁妨害波規格		VCCI クラス B 技術基準適合認定（JATE）、技術基準適合証明（TELEC）

※付属の AC アダプタ以外は絶対に使用しないでください。

ソフトウェア仕様（ルーター）	
項　目	仕　様
ルーター機能	IPv4/NAPT モード、IPv4/IPv6 Dual IP モード
WAN 側 IP アドレス設定	IPv4 アドレス自動取得（DHCP クライアント） IPv6 アドレス自動取得（DHCPv6 クライアント）
LAN 側 IP アドレス設定	固定 IPv4 アドレス手動設定、DHCP サーバ機能（IPv4） DHCP-PD 方式による IPv6 アドレスの自動設定
セキュリティ機能	MAC アドレスフィルタリング、IP フィルタリング
NAT 機能	ポートフォワーディング、DMZ
管理機能	Web GUI
ログインセキュリティ	ユーザー ID ／パスワード

ソフトウェア仕様（無線 LAN）		
項　目		仕　様
IEEE802.11a	周波数帯域	5GHz 帯（5180 ～ 5320MHz、5500 ～ 5700MHz）
	チャンネル数	19
	伝送速度	最大 54Mbps（自動切換）
IEEE802.11b	周波数帯域	2.4GHz 帯（2412 ～ 2472MHz）
	チャンネル数	13
	伝送速度	最大 11Mbps（自動切換）
IEEE802.11g	周波数帯域	2.4GHz 帯（2412 ～ 2472MHz）
	チャンネル数	13
	伝送速度	最大 54Mbps（自動切換）
IEEE802.11n	周波数帯域	2.4GHz 帯、5GHz 帯
	チャンネル数	13（2.4GHz 帯）、19（5GHz 帯）
	伝送速度	最大 300Mbps（MIMO 使用時）
IEEE802.11ac	周波数帯域	5GHz 帯
	チャンネル数	19（5GHz）
	伝送速度	最大 867Mbps（MIMO 使用時）
アンテナ		2.4GHz 帯用：2 本、5GHz 帯用：2 本
セキュリティ		「WEP（64bit）」、「WEP（128bit）」、「WPA-PSK（TKIP）」、「WPA-PSK（AES）」、「WPA2-PSK（TKIP）」、「WPA2-PSK（AES）」、「WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）」、WPS、Multiple SSID（8SSID）、MAC アドレスフィルタリング、無線 SSID 非公開機能

MEMO

MEMO

MEMO

2015 年　4月　20 日　　1 版発行

発　行　住友電気工業株式会社

〒108-0075　東京都港区港南４－１－８　リバージュ品川